

**【表紙】**

【提出書類】	訂正有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	2020年11月16日提出
【発行者名】	三菱UFJ国際投信株式会社
【代表者の役職氏名】	取締役社長 松田 通
【本店の所在の場所】	東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
【事務連絡者氏名】	伊藤 晃
【電話番号】	03-6250-4740
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券に係るファンドの名称】	国内債券通貨プラス
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券の金額】	1兆円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

## 1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

2020年5月15日付をもって提出した有価証券届出書（以下「原届出書」といいます。）について有価証券報告書の提出に伴う関係情報の更新等を行うため、本訂正届出書を提出します。

## 2【訂正の内容】

<訂正前>および<訂正後>に記載している下線部\_\_は訂正部分を示し、<更新後>に記載している内容は原届出書の更新後の内容を示します。

なお、「第二部 ファンド情報 第1 ファンド状況 5 運用状況」、「第二部 ファンド情報 第3 ファンドの経理状況」は原届出書の更新後の内容を記載します。

## 第二部【ファンド情報】

## 第1【ファンドの状況】

## 1【ファンドの性格】

## (1)【ファンドの目的及び基本的性格】

## &lt;更新後&gt;

当ファンドは、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。  
信託金の限度額は、1兆円です。

\* 委託会社は、受託会社と合意のうえ、信託金の限度額を変更することができます。

当ファンドは、一般社団法人投資信託協会が定める商品の分類方法において、以下の商品分類および属性区分に該当します。

## 商品分類表

単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)	独立区分	補足分類
単位型	国内	株式	MMF	インデックス型
	海外	債券	MRF	
追加型		不動産投信		特殊型
	内外	その他資産 ( )	ETF	
		資産複合		

## 属性区分表

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替 ヘッジ	対象 インデックス	特殊型
株式	年1回	グローバル	ファミリー	あり	日経225	ブル・ベア型
一般	年2回	(日本を含む)	ファンド	( )		
大型株	年4回	日本			TOPIX	条件付運用型
中小型株	年6回	北米	ファンド・	なし		
債券	(隔月)	欧州	オブ・		その他	ロング・
一般	年12回	アジア	ファンズ		( )	ショート型/ 絶対収益 追求型
公債	(毎月)	オセアニア				
社債	日々	中南米				
その他債券	その他	アフリカ				
クレジット	( )	中近東				
属性		(中東)				その他
( )		エマージング				(公社債運用 + 絶対収益 追求型)
不動産投信						
その他資産						
( )						
資産複合						
(その他資産(投						
資信託証券(債						
券))、通貨)						

当ファンドが該当する商品分類・属性区分を網掛け表示しています。商品分類および属性区分の内容については、一般社団法人投資信託協会のホームページ（<http://www.toushin.or.jp/>）でご覧いただけます。

ファミリーファンド、ファンド・オブ・ファンズに該当する場合、投資信託証券を通じて投資収益の源泉となる資産に投資しますので商品分類表と属性区分表の投資対象資産は異なります。

属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しています。

#### 商品分類の定義

単位型・追加型	単位型	当初、募集された資金が一つの単位として信託され、その後の追加設定は一切行われのないファンドをいいます。
	追加型	一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行われ従来の信託財産とともに運用されるファンドをいいます。
投資対象地域	国内	信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に国内の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	海外	信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に海外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	内外	信託約款において、国内および海外の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいいます。
投資対象資産	株式	信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	債券	信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に債券を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	不動産投信（リート）	信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	その他資産	信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式、債券および不動産投信以外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	資産複合	信託約款において、株式、債券、不動産投信およびその他資産のうち複数の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいいます。
独立区分	MMF（マネー・マネージメント・ファンド）	一般社団法人投資信託協会が定める「MMF等の運営に関する規則」に規定するMMFをいいます。
	MRF（マネー・リザーブ・ファンド）	一般社団法人投資信託協会が定める「MMF等の運営に関する規則」に規定するMRFをいいます。
	ETF	投資信託及び投資法人に関する法律施行令（平成12年政令480号）第12条第1号および第2号に規定する証券投資信託ならびに租税特別措置法（昭和32年法律第26号）第9条の4の2に規定する上場証券投資信託をいいます。
補足分類	インデックス型	信託約款において、各種指数に連動する運用成果を目指す旨またはそれに準じる記載があるものをいいます。
	特殊型	信託約款において、投資家（受益者）に対して注意を喚起することが必要と思われる特殊な仕組みあるいは運用手法の記載があるものをいいます。

上記定義は一般社団法人投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」を基に委託会社が作成したものです。

#### 属性区分の定義

投資対象資産	株式	一般	次の大型株、中小型株属性にあてはまらない全てのものをいいます。
		大型株	信託約款において、主として大型株に投資する旨の記載があるものをいいます。

	中小型株	信託約款において、主として中小型株に投資する旨の記載があるものをいいます。
債券	一般	次の公債、社債、その他債券属性にあてはまらない全てのものをいいます。
	公債	信託約款において、日本国または各国の政府の発行する国債（地方債、政府保証債、政府機関債、国際機関債を含みます。以下同じ。）に主として投資する旨の記載があるものをいいます。
	社債	信託約款において、企業等が発行する社債に主として投資する旨の記載があるものをいいます。
	その他債券	信託約款において、公債または社債以外の債券に主として投資する旨の記載があるものをいいます。
	クレジット属性	目論見書または信託約款において、信用力が高い債券に選別して投資する、あるいは投資適格債（BBB格相当以上）を投資対象の範囲とする旨の記載があるものについて高格付債、ハイイールド債等（BBB格相当以下）を主要投資対象とする旨の記載があるものについて低格付債を債券の属性として併記します。
	不動産投信	信託約款において、主として不動産投信に投資する旨の記載があるものをいいます。
	その他資産	信託約款において、主として株式、債券および不動産投信以外に投資する旨の記載があるものをいいます。
	資産複合	信託約款において、複数資産を投資対象とする旨の記載があるものをいいます。
決算頻度	年1回	信託約款において、年1回決算する旨の記載があるものをいいます。
	年2回	信託約款において、年2回決算する旨の記載があるものをいいます。
	年4回	信託約款において、年4回決算する旨の記載があるものをいいます。
	年6回（隔月）	信託約款において、年6回決算する旨の記載があるものをいいます。
	年12回（毎月）	信託約款において、年12回（毎月）決算する旨の記載があるものをいいます。
	日々	信託約款において、日々決算する旨の記載があるものをいいます。
	その他	上記属性にあてはまらない全てのものをいいます。
投資対象地域	グローバル	信託約款において、組入資産による投資収益が世界の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	日本	信託約款において、組入資産による投資収益が日本の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	北米	信託約款において、組入資産による投資収益が北米地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	欧州	信託約款において、組入資産による投資収益が欧州地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	アジア	信託約款において、組入資産による投資収益が日本を除くアジア地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	オセアニア	信託約款において、組入資産による投資収益がオセアニア地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	中南米	信託約款において、組入資産による投資収益が中南米地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	アフリカ	信託約款において、組入資産による投資収益がアフリカ地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。

	中近東(中東)	信託約款において、組入資産による投資収益が中近東地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	エマージング	信託約款において、組入資産による投資収益がエマージング地域(新興成長国(地域))の資産(一部組み入れている場合等を除きます。)を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
投資形態	ファミリーファンド	信託約款において、親投資信託(ファンド・オブ・ファンズにのみ投資されるものを除きます。)を投資対象として投資するものをいいます。
	ファンド・オブ・ファンズ	一般社団法人投資信託協会が定める「投資信託等の運用に関する規則」第2条に規定するファンド・オブ・ファンズをいいます。
為替ヘッジ	あり	信託約款において、為替のフルヘッジまたは一部の資産に為替のヘッジを行う旨の記載があるものをいいます。
	なし	信託約款において、為替のヘッジを行わない旨の記載があるものまたは為替のヘッジを行う旨の記載がないものをいいます。
対象インデックス	日経225	信託約款において、日経225に連動する運用成果を目指す旨またはそれに準じる記載があるものをいいます。
	TOPIX	信託約款において、TOPIXに連動する運用成果を目指す旨またはそれに準じる記載があるものをいいます。
	その他	信託約款において、上記以外の指数に連動する運用成果を目指す旨またはそれに準じる記載があるものをいいます。
特殊型	ブル・ベア型	信託約款において、派生商品をヘッジ目的以外に用い、積極的に投資を行うとともに各種指数・資産等への連動もしくは逆連動(一定倍の連動もしくは逆連動を含みます。)を目指す旨の記載があるものをいいます。
	条件付運用型	信託約款において、仕組債への投資またはその他特殊な仕組みを用いることにより、目標とする投資成果(基準価額、償還価額、収益分配金等)や信託終了日等が、明示的な指標等の値により定められる一定の条件によって決定される旨の記載があるものをいいます。
	ロング・ショート型/絶対収益追求型	信託約款において、ロング・ショート戦略により収益の追求を目指す旨もしくは特定の市場に左右されにくい収益の追求を目指す旨の記載があるものをいいます。
	その他	信託約款において、上記特殊型に掲げる属性のいずれにも該当しない特殊な仕組みあるいは運用手法の記載があるものをいいます。

上記定義は一般社団法人投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」を基に委託会社が作成したものです。

## [ファンドの目的・特色]

## ファンドの目的

わが国の公社債を実質的な主要投資対象とするとともに、外国為替予約取引および直物為替先渡取引等を活用することにより、利子収益の確保と中長期的な値上がり益の獲得をめざします。

## ファンドの特色

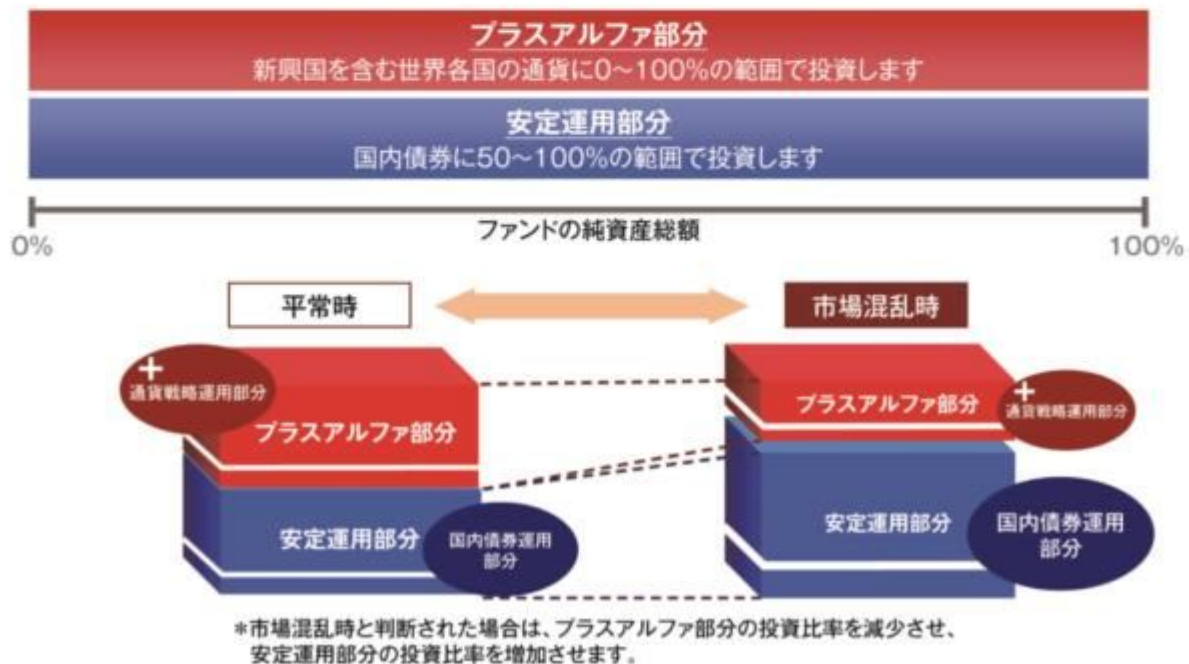
### 国内債券の安定性にさらなる収益源泉を追加

国内債券へ投資する安定運用部分を土台として、新興国を含む世界各国の通貨に投資することで収益源泉を付加します。

#### 〈ファンドのイメージ〉



#### 〈投資配分のイメージ〉



❗ 各通貨への投資総額は、外国為替予約取引および直物為替先渡取引等の合計とします。なお同一通貨への投資額は、買建て(ロング・ポジション)と売建て(ショート・ポジション)の差額とします。

国内債券運用  
部分

## 安定運用部分

## 国内債券の安定性

国内債券に実質的に投資することで安定的な利子収益の確保をめざします。

投資対象

わが国の公社債が実質的な主要投資対象です。

- 事業債、円建外債についてはBBB格（S&Pグローバル・レーティング（S&P）、ムーディーズ・インベスターズ・サービス（Moody's）、格付投資情報センターおよび日本格付研究所のいずれかから取得したもの）相当以上の格付けを有する債券を実質的な対象とします。

## 格付けについて

格付けとは、債券の中長期的な元本・利子の支払いの確実性の度合いについてランク付けしたものです。これは、アルファベットを使った簡単な記号で表現されており、世界各国、産業別の債券について比較しやすいため、広く利用されています。

## &lt;格付けと利回りについて&gt;

ファンドの実質的な投資対象

	投資適格格付け				投機的格付け						
Moody's	Aaa	Aa	A	Baa	Ba	B	Caa	Ca	C	—	
S&P	AAA	AA	A	BBB	BB	B	CCC	CC	C	D	

信用力：高 ← → 低  
利回り：低 ← → 高

S&PのAAからCCCまでの格付けには「+、-」、Moody'sのAaからCaaまでの格付けには「1、2、3」という付加記号を省略して表示しています。上記は格付けと利回りの間の一般的な関係を示したイメージ図であり、利回りは格付け以外の要因によっても変動するため、この関係通りの利回りが成立しない場合があります。

運用方法

NOMURA-BPI総合をベンチマークとし、これを中長期的に上回ることを目標に運用を行います。

- NOMURA-BPI総合とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- ベンチマークとは、ファンドの運用を行うにあたって運用成果の目標基準とする指標です。



+

通貨戦略運用部分

## プラスアルファ部分

### 相場環境にとらわれない収益源泉

クオンツ(計量分析)を基にした通貨戦略モデルを活用して新興国を含む世界各国の通貨へ投資を行い、相場環境にかかわらず収益の獲得をめざします。

投資対象

外国為替予約取引および直物為替先渡取引(NDF)等が主要取引対象です。

運用方法

通貨戦略モデルを活用して新興国を含む世界各国の通貨の買建て(ロング・ポジション)と売建て(ショート・ポジション)を構築し、相場環境にかかわらず中長期的な収益の獲得をめざします。

#### 投資対象通貨

 アメリカドル	 ニューゼalandドル
 ユーロ	 ブラジルレアル
 イギリスポンド	 インドルピー
 カナダドル	 メキシコペソ
 オーストラリアドル	 韓国ウォン
 スイスフラン	 トルコリラ
 スウェーデンクローナ	 インドネシアルピア
 ノルウェークローネ	 南アフリカランド

■ 上記は、2020年8月末時点の投資対象通貨であり、将来変更されることがあります。

■ 直物為替先渡取引(NDF)とは、投資規制のある通貨への実質的な投資等を目的として、決済時に元本の受け渡しを行わずに、元本に対する取引時に決定した取引レートと決済レートとの差額を、米ドル等に換算して、受け渡しを行う取引です。

■ NDF取引では、通常の為替予約取引と比べ、市場の期待値(需給)や規制の影響等を大きく受けて価格が形成される傾向があります。

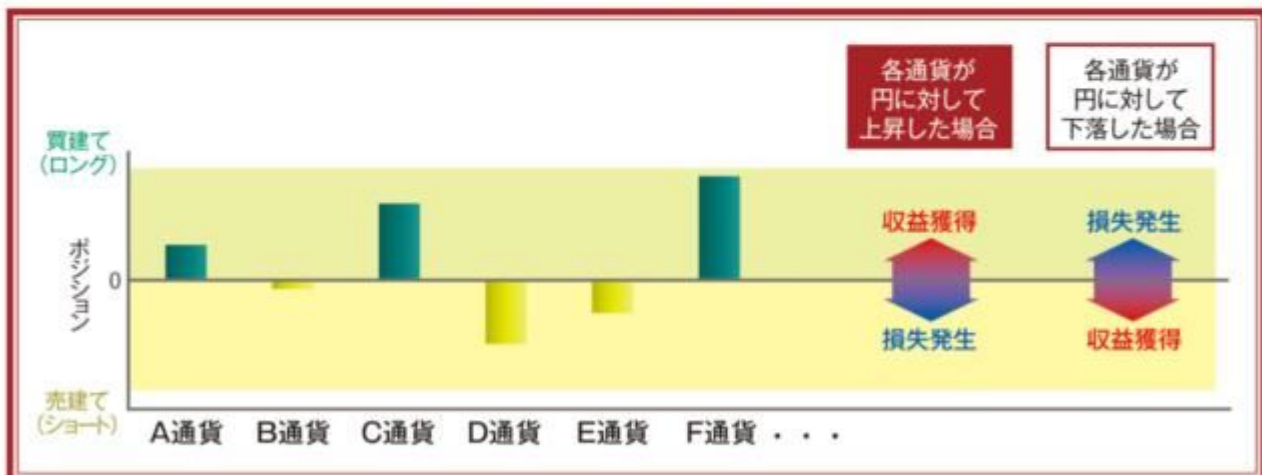
### <通貨戦略モデルによる通貨配分決定プロセス>



金融危機など市場混乱時には投資を控え、極端な為替変動リスクの抑制をめざします。

- 1 上記のプロセスは今後変更される場合があります。
- 1 上記は通貨配分の視点を示したものであり、実際にファンドで組入れる通貨の将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

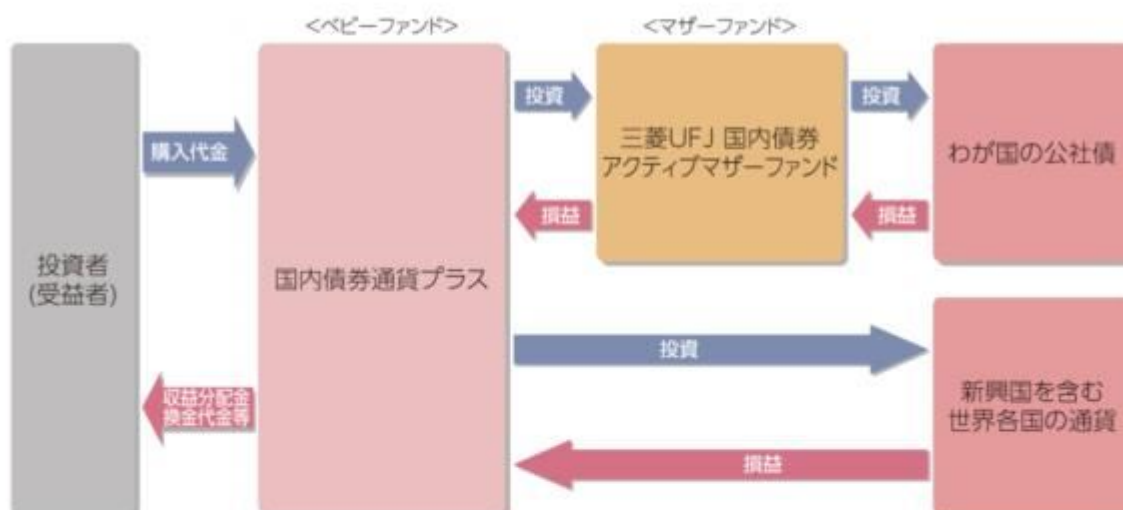
### <通貨配分と損益のイメージ>



- 1 同一通貨への投資額(買建て(ロング・ポジション)と売建て(ショート・ポジション)の差額)はファンドの純資産総額の50%を上限とします。
  - 1 各通貨の買建て(ロング・ポジション)と売建て(ショート・ポジション)の合計は、ファンドの純資産総額の範囲内とします。
- 📄 「運用担当に係る事項」については、委託会社のホームページ(<https://www.am.mufg.jp/corp/operation/fm.html>)でご覧いただけます。

## ■ファンドの仕組み

国内債券運用については、主に三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンドへの投資を通じて行うファミリーファンド方式により行います。



## ■主な投資制限

外貨建資産	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
デリバティブ	デリバティブの使用はヘッジ目的に限定しません。

### 分配方針

毎月の決算時に分配を行います。

- 毎月の決算時(毎月15日(休業日の場合は翌営業日))に収益分配を行います。
- 原則として、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

## 収益分配金に関する留意事項

- ◆分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



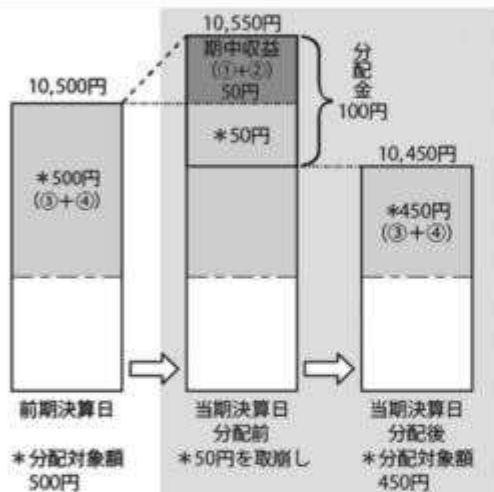
- ◆分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。

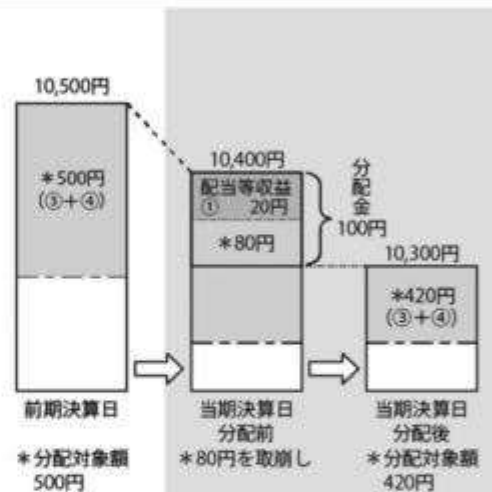
分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

### 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

#### 前期決算日から基準価額が上昇した場合



#### 前期決算日から基準価額が下落した場合



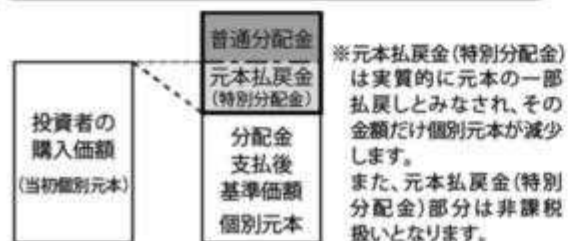
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

**分配準備積立金**：当期の①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

**収益調整金**：追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

- ◆投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

#### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

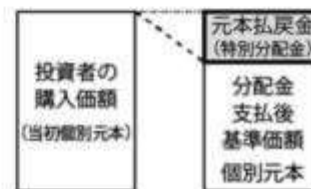


**普通分配金**：個別元本（投資者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。

**元本払戻金（特別分配金）**：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

（注）普通分配金に対する課税については、「4 手数料等及び税金（5）課税上の取扱い」をご参照ください。

#### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

## &lt;訂正前&gt;

## 委託会社と関係法人との契約の概要

	概要
委託会社と受託会社との契約 「信託契約」	運用に関する事項、委託会社および受託会社としての業務に関する事項、受益者に関する事項等が定められています。 なお、信託契約は、「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づきあらかじめ監督官庁に届け出られた信託約款の内容で締結されます。
委託会社と販売会社との契約 「投資信託受益権の取扱いに関する契約」	販売会社の募集の取扱い、解約の取扱い、収益分配金・償還金の支払いの取扱いに係る事務の内容等が定められています。

## 委託会社の概況（2020年2月末現在）

- ・金融商品取引業者登録番号  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第404号
- ・設立年月日  
1985年8月1日
- ・資本金  
2,000百万円
- ・沿革  
1997年5月 東京三菱投信投資顧問株式会社が証券投資信託委託業務を開始  
2004年10月 東京三菱投信投資顧問株式会社と三菱信アセットマネジメント株式会社が合併、商号を三菱投信株式会社に変更  
2005年10月 三菱投信株式会社とユーエフジェイパートナーズ投信株式会社が合併、商号を三菱UFJ投信株式会社に変更  
2015年7月 三菱UFJ投信株式会社と国際投信投資顧問株式会社が合併、商号を三菱UFJ国際投信株式会社に変更
- ・大株主の状況

株主名	住所	所有株式数	所有比率
三菱UFJ信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号	211,581株	100.0%

## &lt;訂正後&gt;

## 委託会社と関係法人との契約の概要

	概要
委託会社と受託会社との契約 「信託契約」	運用に関する事項、委託会社および受託会社としての業務に関する事項、受益者に関する事項等が定められています。 なお、信託契約は、「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づきあらかじめ監督官庁に届け出られた信託約款の内容で締結されます。
委託会社と販売会社との契約 「投資信託受益権の取扱いに関する契約」	販売会社の募集の取扱い、解約の取扱い、収益分配金・償還金の支払いの取扱いに係る事務の内容等が定められています。

## 委託会社の概況（2020年8月末現在）

- ・金融商品取引業者登録番号  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第404号
- ・設立年月日  
1985年8月1日

- ・ 資本金  
2,000百万円
- ・ 沿革
  - 1997年5月 東京三菱投信投資顧問株式会社が証券投資信託委託業務を開始
  - 2004年10月 東京三菱投信投資顧問株式会社と三菱信アセットマネジメント株式会社が合併、商号を三菱投信株式会社に変更
  - 2005年10月 三菱投信株式会社とユーエフジェイパートナーズ投信株式会社が合併、商号を三菱UFJ投信株式会社に変更
  - 2015年7月 三菱UFJ投信株式会社と国際投信投資顧問株式会社が合併、商号を三菱UFJ国際投信株式会社に変更

- ・ 大株主の状況

株主名	住所	所有株式数	所有比率
三菱UFJ信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号	211,581株	100.0%

### 3【投資リスク】

<更新後>

#### (1) 投資リスク

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

( 主なリスクであり、以下に限定されるものではありません。 )

#### 価格変動リスク

一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け公社債の価格が下落した場合には基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

#### 為替変動リスク

当ファンドは、為替予約取引および直物為替先渡取引（NDF）等を活用することにより、為替変動の影響を大きく受けます。

買い建てた為替予約取引および直物為替先渡取引等（ロング・ポジション）の価格が下落した場合、もしくは売り建てた為替予約取引および直物為替先渡取引等（ショート・ポジション）の価格が上昇した場合、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。特に、ロング・ポジションの価格が下落する一方、ショート・ポジションの価格が上昇した場合には、基準価額が大幅に下落することがあります。

#### 信用リスク

信用リスクとは、有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となること等をいいます。当ファンドは、信用リスクを伴い、その影響を受けますので、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

#### 流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない、または取引が不可能となるリスクのことを流動性リスクといい、当ファンドはそのリスクを伴います。例えば、組み入れている公社債の売却を十分な流動性の下で行えないときは、市場実勢から期待される価格で売却できない可能性があります。この場合、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

## カントリーリスク

新興国への投資は、先進国への投資を行う場合に比べ、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響を受けることにより、為替変動・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。この場合、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込む可能性が高まることがあります。

## 留意事項

- ・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- ・当ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、当ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、当ファンドの基準価額に影響する場合があります。
- ・当ファンドは、直物為替先渡取引（NDF）を利用することがありますが、その取引価格は、為替取引に関する規制がある場合など、通貨によっては、取引量が少なく需給動向等の影響を受けやすいため、市場で取引されている価格と大きく乖離れた価格で取引されることがあります。このため、基準価額の値動きは、実際の当該通貨の為替市場の値動きから想定されるものと大きく乖離する場合があります。

## （２）投資リスクに対する管理体制

委託会社では、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。また、定期的開催されるリスク管理に関する会議体等において、それらの状況の報告を行うほか、必要に応じて改善策を審議しています。この内容は運用部門にフィードバックされ、必要に応じて是正を指示します。

具体的な、投資リスクに対するリスク管理体制は以下の通りです。

### トレーディング担当部署

有価証券等の売買執行および発注に係る法令等の遵守および監視・牽制を行います。

### コンプライアンス担当部署

法令上の禁止行為、約款の投資制限等のモニタリングを通じ、法令等遵守状況を把握・管理し、必要に応じて改善の指導を行います。

### リスク管理担当部署

運用リスク全般の状況をモニタリング・管理するとともに、運用実績の分析および評価を行い、必要に応じて改善策等を提言します。また、事務・情報資産・その他のリスクの統括的管理を行っています。

### 内部監査担当部署

委託会社のすべての業務から独立した立場より、リスク管理体制の適切性および有効性について評価を行い、改善策の提案等を通して、リスク管理機能の維持・向上をはかります。

## <流動性リスクに対する管理体制>

流動性リスクは、運用部門で市場の流動性の把握に努め、投資対象・売買数量等を適切に選択することによりコントロールしています。また、運用部門から独立したリスク管理担当部署においても流動性についての情報収集や分析・管理を行い、この結果はリスク管理に関する会議体等に報告されます。

\* 組織変更等により、前記の名称および内容は変更となる場合があります。

## ■代表的な資産クラスとの騰落率の比較等

下記のグラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。



- 基準価額(分配金再投資)は分配金(税引前)を分配時に再投資したものと計算しており、実際の基準価額とは異なる場合があります。
- 年間騰落率とは、各月末における直近1年間の騰落率をいいます。
- ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。

### 代表的な資産クラスの指数について

資産クラス	指数名	注記等
日本株	東証株価指数(TOPIX) (配当込み)	東証株価指数(TOPIX)(配当込み)とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み)	MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み)	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
日本国債	NOMURA-BPI(国債)	NOMURA-BPI(国債)とは、野村証券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI(総合)のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)	FTSE世界国債インデックス(除く日本)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

(注)海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

## 4【手数料等及び税金】

### (5)【課税上の取扱い】



<訂正前>

課税上は、株式投資信託として取り扱われます。

個人の受益者に対する課税

受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の譲渡益については、次の通り課税されます。

1. 収益分配金の課税

普通分配金が配当所得として課税されます。元本払戻金（特別分配金）は課税されません。

原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。なお、確定申告を行い、総合課税（配当控除は適用されません。）・申告分離課税を選択することもできます。

2. 解約時および償還時の課税

解約価額および償還価額から取得費（申込手数料（税込）を含みます。）を控除した利益（譲渡益）が譲渡所得とみなされて課税されます。

20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。

特定口座（源泉徴収選択口座）を利用する場合、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

解約時および償還時の損失（譲渡損）については、確定申告により収益分配金を含む上場株式等の配当所得（申告分離課税を選択した収益分配金・配当金に限ります。）との損益通算が可能となる仕組みがあります。

買取りの取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。他の口座で生じた配当所得・譲渡所得との損益通算はできません。販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

法人の受益者に対する課税

受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の個別元本超過額については、配当所得として15.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%）の税率で源泉徴収されます。地方税の源泉徴収はありません。なお、益金不算入制度の適用はありません。

買取りの取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

分配時において、外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

個別元本について

受益者毎の信託時の受益権の価額等（申込手数料（税込）は含まれません。）が当該受益者の元本（個別元本）にあたります。

受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、個別元本は、当該受益者が追加信託を行うつど当該受益者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。ただし、同一ファンドを複数の販売会社で取得する場合や、同一販売会社であっても複数支店等で同一ファンドを取得する場合等は、個別元本の算出方法が異なる場合があります。

受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

収益分配金について

受益者が収益分配金を受け取る際、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本と同額の場合または当該受益者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となり、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回って

いる場合には、その下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、当該収益分配金から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が普通分配金となります。

なお、受益者が元本払戻金(特別分配金)を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

上記は2020年2月末現在のもので、税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。

課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

#### <訂正後>

課税上は、株式投資信託として取り扱われます。

##### 個人の受益者に対する課税

受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の譲渡益については、次の通り課税されます。

##### 1. 収益分配金の課税

普通分配金が配当所得として課税されます。元本払戻金(特別分配金)は課税されません。

原則として、20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%)の税率で源泉徴収(申告不要)されます。なお、確定申告を行い、総合課税(配当控除は適用されません。・申告分離課税を選択することもできます。

##### 2. 解約時および償還時の課税

解約価額および償還価額から取得費(申込手数料(税込)を含みます。)を控除した利益(譲渡益)が譲渡所得とみなされて課税されます。

20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%)の税率による申告分離課税が適用されます。

特定口座(源泉徴収選択口座)を利用する場合、20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%)の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

解約時および償還時の損失(譲渡損)については、確定申告により収益分配金を含む上場株式等の配当所得(申告分離課税を選択した収益分配金・配当金に限ります。)との損益通算が可能となる仕組みがあります。

買取りの取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

公募株式投資信託は税法上、「NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)」の適用対象です。NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。他の口座で生じた配当所得・譲渡所得との損益通算はできません。販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

##### 法人の受益者に対する課税

受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の個別元本超過額については、配当所得として15.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%)の税率で源泉徴収されます。地方税の源泉徴収はありません。なお、益金不算入制度の適用はありません。

買取りの取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

分配時において、外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

##### 個別元本について

受益者毎の信託時の受益権の価額等(申込手数料(税込)は含まれません。)が当該受益者の元本(個別元本)にあたります。

受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、個別元本は、当該受益者が追加信託を行うつど当該受益者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。ただし、同一ファンドを複数の販売会社で取得する場合や、同一販売会社であっても複数支店等で同一

ファンドを取得する場合等は、個別元本の算出方法が異なる場合があります。

受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

#### 収益分配金について

受益者が収益分配金を受け取る際、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本と同額の場合または当該受益者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となり、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。

なお、受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

上記は2020年8月末現在のもので、税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。

課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## 5【運用状況】

### 【国内債券通貨プラス】

#### （1）【投資状況】

令和 2年 8月31日現在

（単位：円）

資産の種類	国/地域	時価合計	投資比率（%）
親投資信託受益証券	日本	1,567,318,162	88.77
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）		198,354,396	11.23
純資産総額		1,765,672,558	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

#### （2）【投資資産】

##### 【投資有価証券の主要銘柄】

##### a 評価額上位30銘柄

令和 2年 8月31日現在

国/地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
日本	親投資信託受益証券	三菱UFJ 国内債券アクティブマ ザーファンド	1,071,963,725	1.4621	1,567,318,162	1.4621	1,567,318,162	88.77

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

##### b 全銘柄の種類 / 業種別投資比率

令和 2年 8月31日現在

種類	投資比率（％）
親投資信託受益証券	88.77
合計	88.77

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

#### 【投資不動産物件】

該当事項はありません。

#### 【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

### （3）【運用実績】

#### 【純資産の推移】

下記計算期間末日および令和2年8月末日、同日前1年以内における各月末の純資産の推移は次の通りです。

（単位：円）

	純資産総額		基準価額 （1万口当たりの純資産価額）	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第1計算期間末日（平成24年 3月15日）	10,398,570,934	10,398,570,934	10,022	10,022
第2計算期間末日（平成24年 4月16日）	13,925,834,628	13,925,834,628	10,003	10,003
第3計算期間末日（平成24年 5月15日）	13,723,890,880	13,723,890,880	9,850	9,850
第4計算期間末日（平成24年 6月15日）	12,821,301,367	12,821,301,367	9,860	9,860
第5計算期間末日（平成24年 7月17日）	11,317,478,192	11,317,478,192	9,963	9,963
第6計算期間末日（平成24年 8月15日）	10,663,456,189	10,663,456,189	10,011	10,011
第7計算期間末日（平成24年 9月18日）	9,175,593,692	9,175,593,692	9,956	9,956
第8計算期間末日（平成24年10月15日）	8,229,526,425	8,229,526,425	9,953	9,953
第9計算期間末日（平成24年11月15日）	7,243,480,129	7,243,480,129	9,952	9,952
第10計算期間末日（平成24年12月17日）	6,435,602,939	6,438,778,026	10,135	10,140
第11計算期間末日（平成25年 1月15日）	5,934,274,657	5,937,161,101	10,280	10,285
第12計算期間末日（平成25年 2月15日）	4,913,865,570	4,916,239,219	10,351	10,356
第13計算期間末日（平成25年 3月15日）	3,985,183,380	3,994,767,698	10,395	10,420
第14計算期間末日（平成25年 4月15日）	3,533,153,383	3,541,666,703	10,375	10,400
第15計算期間末日（平成25年 5月15日）	3,317,714,839	3,325,836,819	10,212	10,237
第16計算期間末日（平成25年 6月17日）	3,077,291,897	3,084,925,255	10,078	10,103
第17計算期間末日（平成25年 7月16日）	2,942,155,036	2,949,460,895	10,068	10,093
第18計算期間末日（平成25年 8月15日）	2,861,484,060	2,868,602,204	10,050	10,075
第19計算期間末日（平成25年 9月17日）	2,685,812,365	2,691,150,472	10,063	10,083

第20計算期間末日	(平成25年10月15日)	2,579,545,809	2,584,664,701	10,079	10,099
第21計算期間末日	(平成25年11月15日)	2,491,148,545	2,496,124,586	10,013	10,033
第22計算期間末日	(平成25年12月16日)	2,326,296,466	2,329,818,294	9,908	9,923
第23計算期間末日	(平成26年 1月15日)	2,281,992,329	2,285,419,496	9,988	10,003
第24計算期間末日	(平成26年 2月17日)	2,189,391,539	2,192,701,992	9,920	9,935
第25計算期間末日	(平成26年 3月17日)	2,081,226,112	2,084,381,341	9,894	9,909
第26計算期間末日	(平成26年 4月15日)	2,069,212,323	2,072,344,677	9,909	9,924
第27計算期間末日	(平成26年 5月15日)	2,009,075,896	2,012,112,872	9,923	9,938
第28計算期間末日	(平成26年 6月16日)	1,954,565,179	1,956,531,344	9,941	9,951
第29計算期間末日	(平成26年 7月15日)	1,902,989,445	1,904,902,561	9,947	9,957
第30計算期間末日	(平成26年 8月15日)	1,803,809,938	1,805,630,214	9,910	9,920
第31計算期間末日	(平成26年 9月16日)	1,674,512,745	1,676,209,842	9,867	9,877
第32計算期間末日	(平成26年10月15日)	1,584,677,988	1,586,278,639	9,900	9,910
第33計算期間末日	(平成26年11月17日)	1,529,558,107	1,531,091,161	9,977	9,987
第34計算期間末日	(平成26年12月15日)	1,491,779,225	1,493,258,361	10,085	10,095
第35計算期間末日	(平成27年 1月15日)	1,489,045,071	1,490,500,026	10,234	10,244
第36計算期間末日	(平成27年 2月16日)	1,393,363,412	1,394,750,847	10,043	10,053
第37計算期間末日	(平成27年 3月16日)	1,339,223,089	1,341,210,446	10,108	10,123
第38計算期間末日	(平成27年 4月15日)	1,267,761,874	1,269,641,533	10,117	10,132
第39計算期間末日	(平成27年 5月15日)	1,222,983,061	1,224,825,237	9,958	9,973
第40計算期間末日	(平成27年 6月15日)	1,152,197,892	1,153,942,330	9,907	9,922
第41計算期間末日	(平成27年 7月15日)	1,110,699,763	1,112,374,740	9,947	9,962
第42計算期間末日	(平成27年 8月17日)	1,088,430,349	1,090,071,333	9,949	9,964
第43計算期間末日	(平成27年 9月15日)	1,044,377,969	1,045,426,950	9,956	9,966
第44計算期間末日	(平成27年10月15日)	1,049,616,864	1,050,667,857	9,987	9,997
第45計算期間末日	(平成27年11月16日)	1,009,860,792	1,010,872,356	9,983	9,993
第46計算期間末日	(平成27年12月15日)	1,006,144,671	1,007,145,847	10,050	10,060
第47計算期間末日	(平成28年 1月15日)	969,489,997	970,447,370	10,127	10,137
第48計算期間末日	(平成28年 2月15日)	1,030,848,465	1,031,865,629	10,135	10,145
第49計算期間末日	(平成28年 3月15日)	1,180,715,270	1,181,853,804	10,370	10,380
第50計算期間末日	(平成28年 4月15日)	1,249,660,588	1,250,851,151	10,496	10,506
第51計算期間末日	(平成28年 5月16日)	1,637,906,308	1,639,470,307	10,473	10,483
第52計算期間末日	(平成28年 6月15日)	1,793,331,503	1,799,272,129	10,566	10,601
第53計算期間末日	(平成28年 7月15日)	2,328,582,897	2,336,255,187	10,623	10,658
第54計算期間末日	(平成28年 8月15日)	2,608,640,285	2,617,323,812	10,514	10,549
第55計算期間末日	(平成28年 9月15日)	2,476,197,297	2,485,769,742	10,347	10,387
第56計算期間末日	(平成28年10月17日)	2,502,409,037	2,511,978,711	10,460	10,500
第57計算期間末日	(平成28年11月15日)	2,569,929,486	2,579,867,861	10,343	10,383
第58計算期間末日	(平成28年12月15日)	5,054,945,319	5,069,721,399	10,263	10,293
第59計算期間末日	(平成29年 1月16日)	7,702,179,924	7,724,905,270	10,168	10,198
第60計算期間末日	(平成29年 2月15日)	7,878,245,025	7,901,647,952	10,099	10,129
第61計算期間末日	(平成29年 3月15日)	7,475,526,700	7,494,243,813	9,985	10,010
第62計算期間末日	(平成29年 4月17日)	6,631,451,380	6,647,995,926	10,021	10,046

第63計算期間末日	(平成29年 5月15日)	5,782,613,031	5,797,202,517	9,909	9,934
第64計算期間末日	(平成29年 6月15日)	5,108,467,030	5,118,764,271	9,922	9,942
第65計算期間末日	(平成29年 7月18日)	4,619,944,702	4,629,357,934	9,816	9,836
第66計算期間末日	(平成29年 8月15日)	4,214,171,458	4,222,781,135	9,789	9,809
第67計算期間末日	(平成29年 9月15日)	4,004,655,745	4,010,831,799	9,726	9,741
第68計算期間末日	(平成29年10月16日)	3,632,744,111	3,638,389,394	9,653	9,668
第69計算期間末日	(平成29年11月15日)	3,363,628,002	3,368,818,135	9,721	9,736
第70計算期間末日	(平成29年12月15日)	3,178,508,847	3,181,785,606	9,700	9,710
第71計算期間末日	(平成30年 1月15日)	2,976,870,769	2,979,971,455	9,601	9,611
第72計算期間末日	(平成30年 2月15日)	2,804,895,771	2,807,818,825	9,596	9,606
第73計算期間末日	(平成30年 3月15日)	2,714,456,264	2,717,263,276	9,670	9,680
第74計算期間末日	(平成30年 4月16日)	2,706,128,185	2,708,905,003	9,745	9,755
第75計算期間末日	(平成30年 5月15日)	2,676,643,955	2,679,397,930	9,719	9,729
第76計算期間末日	(平成30年 6月15日)	2,615,469,215	2,617,632,342	9,673	9,681
第77計算期間末日	(平成30年 7月17日)	2,504,148,303	2,506,228,698	9,630	9,638
第78計算期間末日	(平成30年 8月15日)	2,443,013,263	2,445,034,483	9,669	9,677
第79計算期間末日	(平成30年 9月18日)	2,383,981,094	2,385,717,545	9,610	9,617
第80計算期間末日	(平成30年10月15日)	2,299,524,350	2,301,207,097	9,566	9,573
第81計算期間末日	(平成30年11月15日)	2,277,883,054	2,279,528,046	9,693	9,700
第82計算期間末日	(平成30年12月17日)	2,257,270,783	2,258,430,645	9,731	9,736
第83計算期間末日	(平成31年 1月15日)	2,221,568,282	2,222,717,100	9,669	9,674
第84計算期間末日	(平成31年 2月15日)	2,227,798,908	2,228,945,674	9,713	9,718
第85計算期間末日	(平成31年 3月15日)	2,235,697,458	2,236,840,324	9,781	9,786
第86計算期間末日	(平成31年 4月15日)	2,215,319,838	2,216,455,549	9,753	9,758
第87計算期間末日	(令和 1年 5月15日)	2,183,465,760	2,184,586,983	9,737	9,742
第88計算期間末日	(令和 1年 6月17日)	2,164,282,489	2,165,389,939	9,771	9,776
第89計算期間末日	(令和 1年 7月16日)	2,147,108,401	2,148,212,786	9,721	9,726
第90計算期間末日	(令和 1年 8月15日)	2,136,254,737	2,137,350,603	9,747	9,752
第91計算期間末日	(令和 1年 9月17日)	2,116,004,512	2,116,880,115	9,666	9,670
第92計算期間末日	(令和 1年10月15日)	2,089,515,474	2,090,380,612	9,661	9,665
第93計算期間末日	(令和 1年11月15日)	2,075,995,361	2,076,857,630	9,630	9,634
第94計算期間末日	(令和 1年12月16日)	2,045,614,659	2,046,465,069	9,622	9,626
第95計算期間末日	(令和 2年 1月15日)	2,014,722,192	2,015,565,788	9,553	9,557
第96計算期間末日	(令和 2年 2月17日)	1,969,486,097	1,970,316,974	9,481	9,485
第97計算期間末日	(令和 2年 3月16日)	1,953,781,657	1,953,987,327	9,500	9,501
第98計算期間末日	(令和 2年 4月15日)	1,898,403,932	1,898,607,138	9,342	9,343
第99計算期間末日	(令和 2年 5月15日)	1,895,765,941	1,895,968,467	9,361	9,362
第100計算期間末日	(令和 2年 6月15日)	1,852,678,629	1,852,876,052	9,384	9,385
第101計算期間末日	(令和 2年 7月15日)	1,824,847,169	1,825,042,935	9,322	9,323
第102計算期間末日	(令和 2年 8月17日)	1,775,906,818	1,776,098,227	9,278	9,279
	令和 1年 8月末日	2,143,025,757		9,780	
	9月末日	2,113,163,993		9,673	

10月末日	2,111,511,766		9,726
11月末日	2,075,218,671		9,675
12月末日	2,042,265,215		9,617
令和 2年 1月末日	1,985,077,766		9,525
2月末日	1,963,287,984		9,505
3月末日	1,942,590,572		9,463
4月末日	1,909,060,631		9,390
5月末日	1,854,261,720		9,349
6月末日	1,836,034,599		9,331
7月末日	1,798,638,997		9,336
8月末日	1,765,672,558		9,281

## 【分配の推移】

	1万口当たりの分配金
第1計算期間	円
第2計算期間	円
第3計算期間	円
第4計算期間	円
第5計算期間	円
第6計算期間	0円
第7計算期間	0円
第8計算期間	0円
第9計算期間	0円
第10計算期間	5円
第11計算期間	5円
第12計算期間	5円
第13計算期間	25円
第14計算期間	25円
第15計算期間	25円
第16計算期間	25円
第17計算期間	25円
第18計算期間	25円
第19計算期間	20円
第20計算期間	20円
第21計算期間	20円
第22計算期間	15円
第23計算期間	15円
第24計算期間	15円
第25計算期間	15円
第26計算期間	15円
第27計算期間	15円

第28計算期間	10円
第29計算期間	10円
第30計算期間	10円
第31計算期間	10円
第32計算期間	10円
第33計算期間	10円
第34計算期間	10円
第35計算期間	10円
第36計算期間	10円
第37計算期間	15円
第38計算期間	15円
第39計算期間	15円
第40計算期間	15円
第41計算期間	15円
第42計算期間	15円
第43計算期間	10円
第44計算期間	10円
第45計算期間	10円
第46計算期間	10円
第47計算期間	10円
第48計算期間	10円
第49計算期間	10円
第50計算期間	10円
第51計算期間	10円
第52計算期間	35円
第53計算期間	35円
第54計算期間	35円
第55計算期間	40円
第56計算期間	40円
第57計算期間	40円
第58計算期間	30円
第59計算期間	30円
第60計算期間	30円
第61計算期間	25円
第62計算期間	25円
第63計算期間	25円
第64計算期間	20円
第65計算期間	20円
第66計算期間	20円
第67計算期間	15円
第68計算期間	15円
第69計算期間	15円
第70計算期間	10円



第71計算期間	10円
第72計算期間	10円
第73計算期間	10円
第74計算期間	10円
第75計算期間	10円
第76計算期間	8円
第77計算期間	8円
第78計算期間	8円
第79計算期間	7円
第80計算期間	7円
第81計算期間	7円
第82計算期間	5円
第83計算期間	5円
第84計算期間	5円
第85計算期間	5円
第86計算期間	5円
第87計算期間	5円
第88計算期間	5円
第89計算期間	5円
第90計算期間	5円
第91計算期間	4円
第92計算期間	4円
第93計算期間	4円
第94計算期間	4円
第95計算期間	4円
第96計算期間	4円
第97計算期間	1円
第98計算期間	1円
第99計算期間	1円
第100計算期間	1円
第101計算期間	1円
第102計算期間	1円

## 【収益率の推移】

	収益率（％）
第1計算期間	0.22
第2計算期間	0.18
第3計算期間	1.52
第4計算期間	0.10
第5計算期間	1.04
第6計算期間	0.48

第7計算期間	0.54
第8計算期間	0.03
第9計算期間	0.01
第10計算期間	1.88
第11計算期間	1.48
第12計算期間	0.73
第13計算期間	0.66
第14計算期間	0.04
第15計算期間	1.33
第16計算期間	1.06
第17計算期間	0.14
第18計算期間	0.06
第19計算期間	0.32
第20計算期間	0.35
第21計算期間	0.45
第22計算期間	0.89
第23計算期間	0.95
第24計算期間	0.53
第25計算期間	0.11
第26計算期間	0.30
第27計算期間	0.29
第28計算期間	0.28
第29計算期間	0.16
第30計算期間	0.27
第31計算期間	0.33
第32計算期間	0.43
第33計算期間	0.87
第34計算期間	1.18
第35計算期間	1.57
第36計算期間	1.76
第37計算期間	0.79
第38計算期間	0.23
第39計算期間	1.42
第40計算期間	0.36
第41計算期間	0.55
第42計算期間	0.17
第43計算期間	0.17
第44計算期間	0.41
第45計算期間	0.06
第46計算期間	0.77
第47計算期間	0.86
第48計算期間	0.17
第49計算期間	2.41

第50計算期間	1.31
第51計算期間	0.12
第52計算期間	1.22
第53計算期間	0.87
第54計算期間	0.69
第55計算期間	1.20
第56計算期間	1.47
第57計算期間	0.73
第58計算期間	0.48
第59計算期間	0.63
第60計算期間	0.38
第61計算期間	0.88
第62計算期間	0.61
第63計算期間	0.86
第64計算期間	0.33
第65計算期間	0.86
第66計算期間	0.07
第67計算期間	0.49
第68計算期間	0.59
第69計算期間	0.85
第70計算期間	0.11
第71計算期間	0.91
第72計算期間	0.05
第73計算期間	0.87
第74計算期間	0.87
第75計算期間	0.16
第76計算期間	0.39
第77計算期間	0.36
第78計算期間	0.48
第79計算期間	0.53
第80計算期間	0.38
第81計算期間	1.40
第82計算期間	0.44
第83計算期間	0.58
第84計算期間	0.50
第85計算期間	0.75
第86計算期間	0.23
第87計算期間	0.11
第88計算期間	0.40
第89計算期間	0.46
第90計算期間	0.31
第91計算期間	0.78
第92計算期間	0.01

第93計算期間	0.27
第94計算期間	0.04
第95計算期間	0.67
第96計算期間	0.71
第97計算期間	0.21
第98計算期間	1.65
第99計算期間	0.21
第100計算期間	0.25
第101計算期間	0.65
第102計算期間	0.46

（注）「収益率」とは、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額）を控除した額を当該基準価額（分配落の額）で除して得た数に100を乗じて得た数をいう。

#### （４）【設定及び解約の実績】

	設定口数	解約口数	発行済口数
第1計算期間	10,402,231,404	26,905,146	10,375,326,258
第2計算期間	3,636,711,777	90,815,352	13,921,222,683
第3計算期間	427,210,015	415,249,378	13,933,183,320
第4計算期間	46,867,760	977,250,257	13,002,800,823
第5計算期間	29,500,069	1,672,406,066	11,359,894,826
第6計算期間	24,361,239	732,124,254	10,652,131,811
第7計算期間	12,831,788	1,448,801,137	9,216,162,462
第8計算期間	108,215	947,844,958	8,268,425,719
第9計算期間		989,965,446	7,278,460,273
第10計算期間		928,285,116	6,350,175,157
第11計算期間	27,772,616	605,059,149	5,772,888,624
第12計算期間	19,235,797	1,044,825,905	4,747,298,516
第13計算期間	2,320,615	915,891,653	3,833,727,478
第14計算期間	47,450,922	475,850,114	3,405,328,286
第15計算期間	157,620,100	314,156,300	3,248,792,086
第16計算期間	48,207,123	243,655,815	3,053,343,394
第17計算期間	8,790,674	139,790,405	2,922,343,663
第18計算期間	4,177,570	79,263,375	2,847,257,858
第19計算期間	3,392,316	181,596,375	2,669,053,799
第20計算期間	28,071,543	137,678,932	2,559,446,410
第21計算期間	1,078,887	72,504,777	2,488,020,520
第22計算期間	6,005,609	146,140,338	2,347,885,791
第23計算期間	839,535	63,946,822	2,284,778,504
第24計算期間	1,941,777	79,751,132	2,206,969,149
第25計算期間	798,223	104,280,739	2,103,486,633
第26計算期間	5,683,718	20,934,329	2,088,236,022
第27計算期間	718,608	64,303,700	2,024,650,930

第28計算期間	699,698	59,185,108	1,966,165,520
第29計算期間	373,601	53,423,001	1,913,116,120
第30計算期間	371,376	93,211,233	1,820,276,263
第31計算期間	374,129	123,552,723	1,697,097,669
第32計算期間	371,810	96,817,937	1,600,651,542
第33計算期間	344,644	67,941,841	1,533,054,345
第34計算期間	373,649	54,291,395	1,479,136,599
第35計算期間	262,536	24,443,732	1,454,955,403
第36計算期間	246,759	67,766,269	1,387,435,893
第37計算期間	6,071,318	68,602,212	1,324,904,999
第38計算期間	325,330	72,123,750	1,253,106,579
第39計算期間	337,996	25,326,916	1,228,117,659
第40計算期間	3,279,421	68,438,241	1,162,958,839
第41計算期間	432,717	46,740,217	1,116,651,339
第42計算期間	811,401	23,473,130	1,093,989,610
第43計算期間	351,381	45,359,024	1,048,981,967
第44計算期間	33,558,798	31,547,211	1,050,993,554
第45計算期間	332,505	39,761,892	1,011,564,167
第46計算期間	5,319,347	15,706,991	1,001,176,523
第47計算期間	41,425,362	85,228,537	957,373,348
第48計算期間	76,573,859	16,782,578	1,017,164,629
第49計算期間	162,505,240	41,135,411	1,138,534,458
第50計算期間	124,650,187	72,620,865	1,190,563,780
第51計算期間	401,458,020	28,022,004	1,563,999,796
第52計算期間	171,220,148	37,898,064	1,697,321,880
第53計算期間	832,064,322	337,303,098	2,192,083,104
第54計算期間	416,551,886	127,627,137	2,481,007,853
第55計算期間	266,248,414	354,144,878	2,393,111,389
第56計算期間	97,698,532	98,391,390	2,392,418,531
第57計算期間	420,294,773	328,119,516	2,484,593,788
第58計算期間	2,642,699,671	201,933,376	4,925,360,083
第59計算期間	2,844,693,117	194,937,576	7,575,115,624
第60計算期間	530,706,110	304,845,955	7,800,975,779
第61計算期間	206,007,687	520,137,953	7,486,845,513
第62計算期間	146,981,909	1,016,008,687	6,617,818,735
第63計算期間	12,713,104	794,737,205	5,835,794,634
第64計算期間	26,749,769	713,923,845	5,148,620,558
第65計算期間	29,665,767	471,670,319	4,706,616,006
第66計算期間	4,998,854	406,776,305	4,304,838,555
第67計算期間	14,696,139	202,165,163	4,117,369,531
第68計算期間	10,909,884	364,757,232	3,763,522,183
第69計算期間	4,240,851	307,674,033	3,460,089,001
第70計算期間	12,031,522	195,361,074	3,276,759,449

第71計算期間	1,204,276	177,277,002	3,100,686,723
第72計算期間	1,406,308	179,038,532	2,923,054,499
第73計算期間	1,290,029	117,332,134	2,807,012,394
第74計算期間	1,131,770	31,325,260	2,776,818,904
第75計算期間	1,021,720	23,865,498	2,753,975,126
第76計算期間	1,233,359	51,298,506	2,703,909,979
第77計算期間	807,365	104,222,378	2,600,494,966
第78計算期間	824,253	74,793,421	2,526,525,798
第79計算期間	1,024,045	46,904,998	2,480,644,845
第80計算期間	679,608	77,398,903	2,403,925,550
第81計算期間	697,824	54,634,355	2,349,989,019
第82計算期間	3,968,281	34,233,273	2,319,724,027
第83計算期間	510,608	22,597,836	2,297,636,799
第84計算期間	461,298	4,565,450	2,293,532,647
第85計算期間	545,010	8,344,921	2,285,732,736
第86計算期間	1,458,529	15,768,107	2,271,423,158
第87計算期間	421,492	29,397,040	2,242,447,610
第88計算期間	458,823	28,006,313	2,214,900,120
第89計算期間	421,975	6,550,994	2,208,771,101
第90計算期間	751,049	17,790,148	2,191,732,002
第91計算期間	460,053	3,183,163	2,189,008,892
第92計算期間	846,496	27,010,118	2,162,845,270
第93計算期間	16,606,322	23,777,854	2,155,673,738
第94計算期間	1,447,232	31,093,822	2,126,027,148
第95計算期間	1,448,983	18,485,076	2,108,991,055
第96計算期間	6,476,710	38,274,232	2,077,193,533
第97計算期間	347,251	20,831,865	2,056,708,919
第98計算期間	98,628	24,742,630	2,032,064,917
第99計算期間	1,069,531	7,872,948	2,025,261,500
第100計算期間	104,505	51,131,939	1,974,234,066
第101計算期間	106,338	16,674,318	1,957,666,086
第102計算期間	145,894	43,719,728	1,914,092,252

(参考)

三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド

投資状況

令和 2年 8月31日現在

(単位：円)

資産の種類	国/地域	時価合計	投資比率(%)
国債証券	日本	6,950,384,900	60.75

特殊債券	日本	100,089,000	0.87
社債券	日本	3,894,374,000	34.04
	スイス	100,007,000	0.87
	小計	3,994,381,000	34.91
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）		396,813,033	3.47
純資産総額		11,441,667,933	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

## 投資資産

### 投資有価証券の主要銘柄

#### a 評価額上位30銘柄

令和 2年 8月31日現在

国/ 地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	利率 (%)	償還期限 (年/月/日)	投資 比率 (%)
日本	国債証券	第354回利付国債(10年)	460,000,000	101.66	467,658,000	100.85	463,928,400	0.100000	2029/3/20	4.05
日本	国債証券	第166回利付国債(20年)	260,000,000	108.15	281,197,400	105.49	274,284,400	0.700000	2038/9/20	2.40
日本	国債証券	第142回利付国債(5年)	270,000,000	101.03	272,805,900	100.84	272,273,400	0.100000	2024/12/20	2.38
日本	国債証券	第146回利付国債(20年)	170,000,000	121.08	205,850,700	119.23	202,692,700	1.700000	2033/9/20	1.77
日本	社債券	第3回マラヤン・バンキング(2019)	200,000,000	100.11	200,234,000	99.96	199,924,000	0.270000	2022/5/20	1.75
日本	社債券	第6回マラヤン・バンキング	200,000,000	100.03	200,060,000	99.38	198,774,000	0.224000	2023/2/13	1.74
日本	国債証券	第162回利付国債(20年)	180,000,000	106.62	191,925,300	103.93	187,090,200	0.600000	2037/9/20	1.64
日本	国債証券	第152回利付国債(20年)	130,000,000	115.41	150,039,000	113.25	147,232,800	1.200000	2035/3/20	1.29
日本	国債証券	第128回利付国債(20年)	120,000,000	120.68	144,827,500	119.29	143,155,200	1.900000	2031/6/20	1.25
日本	国債証券	第150回利付国債(20年)	120,000,000	118.44	142,133,200	115.92	139,111,200	1.400000	2034/9/20	1.22
日本	国債証券	第58回利付国債(30年)	130,000,000	112.07	145,702,700	105.98	137,774,000	0.800000	2048/3/20	1.20
日本	国債証券	第125回利付国債(20年)	110,000,000	123.77	136,157,300	122.11	134,321,000	2.200000	2031/3/20	1.17
日本	国債証券	第159回利付国債(20年)	120,000,000	106.48	127,785,600	104.17	125,011,200	0.600000	2036/12/20	1.09
日本	国債証券	第123回利付国債(20年)	100,000,000	121.97	121,970,500	120.70	120,700,000	2.100000	2030/12/20	1.05
日本	国債証券	第60回利付国債(30年)	110,000,000	113.97	125,371,400	108.50	119,355,500	0.900000	2048/9/20	1.04
日本	国債証券	第145回利付国債(20年)	100,000,000	120.81	120,817,300	119.01	119,017,000	1.700000	2033/6/20	1.04
日本	国債証券	第141回利付国債(20年)	100,000,000	120.88	120,880,000	118.65	118,650,000	1.700000	2032/12/20	1.04
日本	国債証券	第143回利付国債(20年)	100,000,000	119.74	119,747,800	117.56	117,568,000	1.600000	2033/3/20	1.03
日本	国債証券	第149回利付国債(20年)	100,000,000	119.53	119,533,900	117.14	117,143,000	1.500000	2034/6/20	1.02

日本	国債証券	第99回利付国債 (20年)	100,000,000	117.56	117,560,000	115.67	115,670,000	2.100000	2027/12/20	1.01
日本	国債証券	第153回利付国債 (20年)	100,000,000	116.17	116,171,200	114.73	114,739,000	1.300000	2035/6/20	1.00
日本	国債証券	第42回利付国債 (30年)	90,000,000	130.89	117,809,600	126.74	114,074,100	1.700000	2044/3/20	1.00
日本	国債証券	第154回利付国債 (20年)	100,000,000	116.25	116,257,000	113.28	113,287,000	1.200000	2035/9/20	0.99
日本	国債証券	第46回利付国債 (30年)	90,000,000	127.49	114,745,200	122.80	110,523,600	1.500000	2045/3/20	0.97
日本	国債証券	第54回利付国債 (30年)	100,000,000	111.96	111,962,000	106.28	106,283,000	0.800000	2047/3/20	0.93
日本	社債券	第8回みずほコー ポレート銀行(劣 後特約付)	100,000,000	101.95	101,956,000	101.73	101,733,000	1.620000	2021/10/29	0.89
日本	国債証券	第350回利付国債 (10年)	100,000,000	101.79	101,795,000	101.05	101,059,000	0.100000	2028/3/20	0.88
日本	社債券	第27回東京電力 パワーグリッド	100,000,000	100.91	100,911,000	100.88	100,885,000	0.600000	2024/7/10	0.88
日本	社債券	第500回関西電 力	100,000,000	101.01	101,012,000	100.76	100,763,000	0.455000	2026/3/19	0.88
日本	社債券	第28回三菱東京 UFJ銀行(劣後 特約付)	100,000,000	101.34	101,340,000	100.57	100,573,000	1.560000	2021/1/20	0.88

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

#### b 全銘柄の種類 / 業種別投資比率

令和 2年 8月31日現在

種類	投資比率 (%)
国債証券	60.75
特殊債券	0.87
社債券	34.91
合計	96.53

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

#### 投資不動産物件

該当事項はありません。

#### その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

#### 参考情報

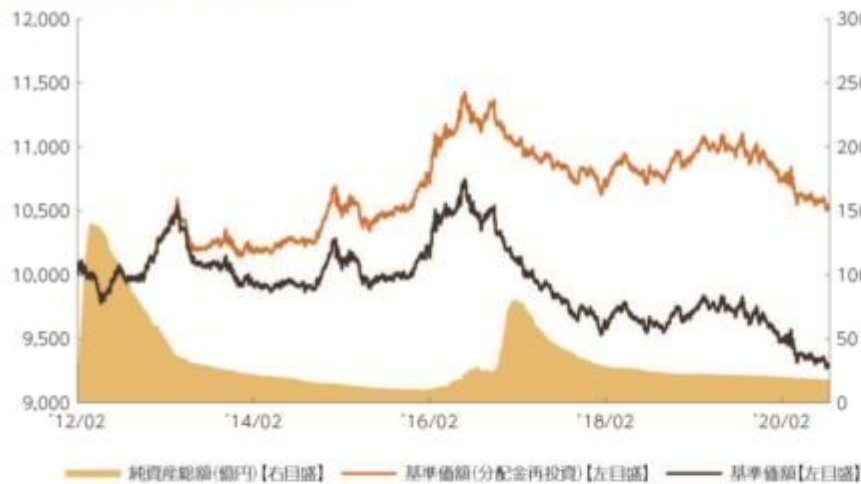




## 運用実績

2020年8月31日現在

### ■基準価額・純資産の推移 2012年2月14日(設定日)～2020年8月31日



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は10,000を起点として表示
- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は運用報酬(信託報酬)控除後です。

### ■基準価額・純資産

基準価額	9,281円
純資産総額	17.6億円

### ■分配の推移

2020年8月	1円
2020年7月	1円
2020年6月	1円
2020年5月	1円
2020年4月	1円
2020年3月	1円
直近1年間累計	30円
設定来累計	1,260円

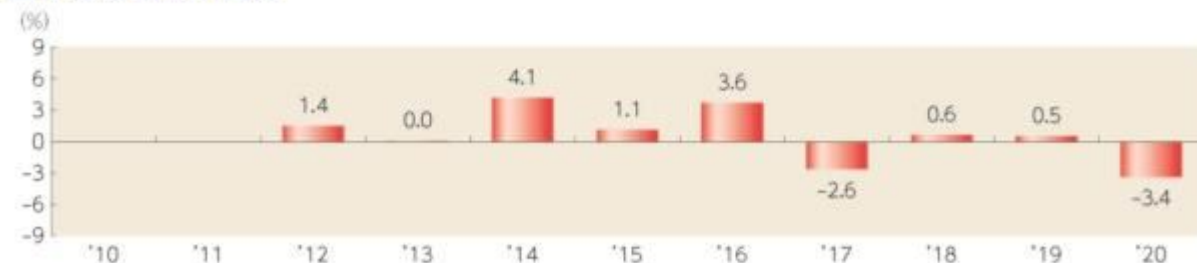
・分配金は1万円当たり、税引前

### ■主要な資産の状況

通貨戦略部分の構成比率			種別構成		組入上位銘柄		種別	
(買建)			国債	53.9%	1 第354回利付国債(10年)	国債	3.6%	
ユーロ	20.1%		特殊債	0.8%	2 第166回利付国債(20年)	国債	2.1%	
カナダドル	12.6%		社債	31.0%	3 第142回利付国債(5年)	国債	2.1%	
米ドル	9.5%				4 第146回利付国債(20年)	国債	1.6%	
その他	13.3%				5 第3回マラヤン・バンキング(2019)	社債	1.6%	
(売建)					6 第6回マラヤン・バンキング	社債	1.5%	
スイスフラン	-20.2%		コールローン他		7 第162回利付国債(20年)	国債	1.5%	
ノルウェークローネ	-11.3%		(負債控除後)	14.3%	8 第152回利付国債(20年)	国債	1.1%	
豪ドル	-4.2%		合計	100.0%	9 第128回利付国債(20年)	国債	1.1%	
その他	-1.5%				10 第150回利付国債(20年)	国債	1.1%	
買建比率	55.5%	売建比率	-37.2%	ネットポジション	18.3%			

- ・各比率はファンドの純資産総額に対する投資比率(小数点第二位四捨五入)
- ・コールローン他には未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。

### ■年間収益率の推移



- ・収益率は基準価額(分配金再投資)で計算
- ・2012年は設定日から年末までの、2020年は年初から8月31日までの収益率を表示
- ・ファンドにベンチマークはありません。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。  
運用状況等は、委託会社のホームページ等で開示している場合があります。

## 第3【ファンドの経理状況】

- 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。  
なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
- 毎月決算ファンドの計算期間は6ヵ月未満であるため、財務諸表は6ヵ月毎に作成しております。
- 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当期（令和2年2月18日から令和2年8月17日まで）の財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人により監査を受けております。

## 1【財務諸表】

## 【国内債券通貨プラス】

## (1)【貸借対照表】

(単位：円)

	前期 [ 令和 2年 2月17日現在 ]	当期 [ 令和 2年 8月17日現在 ]
<b>資産の部</b>		
流動資産		
預金	7,052,390	6,846,352
コール・ローン	233,692,200	216,877,928
親投資信託受益証券	1,740,200,408	1,567,318,162
派生商品評価勘定	2,951,321	13,623,192
流動資産合計	1,983,896,319	1,804,665,634
資産合計	1,983,896,319	1,804,665,634
<b>負債の部</b>		
流動負債		
派生商品評価勘定	11,011,210	26,231,052
未払収益分配金	830,877	191,409
未払受託者報酬	98,546	89,643
未払委託者報酬	2,463,579	2,241,002
未払利息	110	340
その他未払費用	5,900	5,370
流動負債合計	14,410,222	28,758,816
負債合計	14,410,222	28,758,816
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	2,077,193,533	1,914,092,252
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	107,707,436	138,185,434
（分配準備積立金）	182,885	1,058,471
元本等合計	1,969,486,097	1,775,906,818
純資産合計	1,969,486,097	1,775,906,818
負債純資産合計	1,983,896,319	1,804,665,634

## (2)【損益及び剰余金計算書】

	前期 自 令和 1年 8月16日 至 令和 2年 2月17日	当期 自 令和 2年 2月18日 至 令和 2年 8月17日
<b>営業収益</b>		
受取利息	23,470	4,012
有価証券売買等損益	29,467,673	22,882,246
為替差損益	7,057,814	3,063,396
営業収益合計	36,502,017	25,941,630
<b>営業費用</b>		
支払利息	48,572	43,187
受託者報酬	576,497	515,653
委託者報酬	14,412,213	12,891,100
その他費用	34,528	36,815
営業費用合計	15,071,810	13,486,755
営業利益又は営業損失（ ）	51,573,827	39,428,385
経常利益又は経常損失（ ）	51,573,827	39,428,385
当期純利益又は当期純損失（ ）	51,573,827	39,428,385
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）	46,948	164,155
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	55,477,265	107,707,436
剰余金増加額又は欠損金減少額	5,346,073	10,098,444
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	5,346,073	10,098,444
剰余金減少額又は欠損金増加額	921,472	116,212
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	921,472	116,212
分配金	5,127,893	1,196,000
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	107,707,436	138,185,434

## （ 3 ）【注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引は原則としてわが国における対顧客先物相場の仲値で評価しております。
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建資産等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条および第61条にしたがって処理しております。 ファンドの特定期間 当ファンドは、原則として毎年2月15日および8月15日を特定期間の末日としておりますが、前特定期間および当特定期間においては当該日が休業日のため、当特定期間は令和 2年 2月18日から令和 2年 8月17日までとなっております。

（貸借対照表に関する注記）

	前期 [令和 2年 2月17日現在]	当期 [令和 2年 8月17日現在]
1. 期首元本額	2,191,732,002円	2,077,193,533円
期中追加設定元本額	27,285,796円	1,872,147円
期中一部解約元本額	141,824,265円	164,973,428円

	前期 [令和 2年 2月17日現在]	当期 [令和 2年 8月17日現在]
2. 元本の欠損 純資産額が元本総額を下回っており、その差額であります。	107,707,436円	138,185,434円
3. 受益権の総数	2,077,193,533口	1,914,092,252口

## (損益及び剰余金計算書に関する注記)

前期 自 令和 1年 8月16日 至 令和 2年 2月17日	当期 自 令和 2年 2月18日 至 令和 2年 8月17日																																																																																																																								
<p>1. 分配金の計算過程</p> <p>第91期 令和 1年 8月16日 令和 1年 9月17日</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>10,433,236円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>195,157円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>10,628,393円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>2,189,008,892口</td> </tr> <tr> <td>1万口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F*10,000</td> <td>48円</td> </tr> <tr> <td>1万口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>4円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I=F*H/10,000</td> <td>875,603円</td> </tr> </tbody> </table> <p>第92期 令和 1年 9月18日 令和 1年10月15日</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>9,443,687円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>192,751円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>9,636,438円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>2,162,845,270口</td> </tr> <tr> <td>1万口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F*10,000</td> <td>44円</td> </tr> <tr> <td>1万口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>4円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I=F*H/10,000</td> <td>865,138円</td> </tr> </tbody> </table> <p>第93期 令和 1年10月16日</p>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円	収益調整金額	C	10,433,236円	分配準備積立金額	D	195,157円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	10,628,393円	当ファンドの期末残存口数	F	2,189,008,892口	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	48円	1万口当たり分配金額	H	4円	収益分配金金額	I=F*H/10,000	875,603円	項目			費用控除後の配当等収益額	A	円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円	収益調整金額	C	9,443,687円	分配準備積立金額	D	192,751円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	9,636,438円	当ファンドの期末残存口数	F	2,162,845,270口	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	44円	1万口当たり分配金額	H	4円	収益分配金金額	I=F*H/10,000	865,138円	<p>1. 分配金の計算過程</p> <p>第97期 令和 2年 2月18日 令和 2年 3月16日</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>701,758円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>4,876,318円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>181,052円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>5,759,128円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>2,056,708,919口</td> </tr> <tr> <td>1万口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F*10,000</td> <td>27円</td> </tr> <tr> <td>1万口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>1円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I=F*H/10,000</td> <td>205,670円</td> </tr> </tbody> </table> <p>第98期 令和 2年 3月17日 令和 2年 4月15日</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>4,817,949円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>668,992円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>5,486,941円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>2,032,064,917口</td> </tr> <tr> <td>1万口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F*10,000</td> <td>26円</td> </tr> <tr> <td>1万口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>1円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I=F*H/10,000</td> <td>203,206円</td> </tr> </tbody> </table> <p>第99期 令和 2年 4月16日</p>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	701,758円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円	収益調整金額	C	4,876,318円	分配準備積立金額	D	181,052円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	5,759,128円	当ファンドの期末残存口数	F	2,056,708,919口	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	27円	1万口当たり分配金額	H	1円	収益分配金金額	I=F*H/10,000	205,670円	項目			費用控除後の配当等収益額	A	円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円	収益調整金額	C	4,817,949円	分配準備積立金額	D	668,992円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	5,486,941円	当ファンドの期末残存口数	F	2,032,064,917口	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	26円	1万口当たり分配金額	H	1円	収益分配金金額	I=F*H/10,000	203,206円
項目																																																																																																																									
費用控除後の配当等収益額	A	円																																																																																																																							
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円																																																																																																																							
収益調整金額	C	10,433,236円																																																																																																																							
分配準備積立金額	D	195,157円																																																																																																																							
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	10,628,393円																																																																																																																							
当ファンドの期末残存口数	F	2,189,008,892口																																																																																																																							
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	48円																																																																																																																							
1万口当たり分配金額	H	4円																																																																																																																							
収益分配金金額	I=F*H/10,000	875,603円																																																																																																																							
項目																																																																																																																									
費用控除後の配当等収益額	A	円																																																																																																																							
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円																																																																																																																							
収益調整金額	C	9,443,687円																																																																																																																							
分配準備積立金額	D	192,751円																																																																																																																							
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	9,636,438円																																																																																																																							
当ファンドの期末残存口数	F	2,162,845,270口																																																																																																																							
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	44円																																																																																																																							
1万口当たり分配金額	H	4円																																																																																																																							
収益分配金金額	I=F*H/10,000	865,138円																																																																																																																							
項目																																																																																																																									
費用控除後の配当等収益額	A	701,758円																																																																																																																							
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円																																																																																																																							
収益調整金額	C	4,876,318円																																																																																																																							
分配準備積立金額	D	181,052円																																																																																																																							
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	5,759,128円																																																																																																																							
当ファンドの期末残存口数	F	2,056,708,919口																																																																																																																							
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	27円																																																																																																																							
1万口当たり分配金額	H	1円																																																																																																																							
収益分配金金額	I=F*H/10,000	205,670円																																																																																																																							
項目																																																																																																																									
費用控除後の配当等収益額	A	円																																																																																																																							
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円																																																																																																																							
収益調整金額	C	4,817,949円																																																																																																																							
分配準備積立金額	D	668,992円																																																																																																																							
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	5,486,941円																																																																																																																							
当ファンドの期末残存口数	F	2,032,064,917口																																																																																																																							
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	26円																																																																																																																							
1万口当たり分配金額	H	1円																																																																																																																							
収益分配金金額	I=F*H/10,000	203,206円																																																																																																																							

前期 自 令和 1年 8月16日 至 令和 2年 2月17日			当期 自 令和 2年 2月18日 至 令和 2年 8月17日		
令和 1年11月15日			令和 2年 5月15日		
項目			項目		
費用控除後の配当等収益額	A	円	費用控除後の配当等収益額	A	735,563円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	8,556,274円	収益調整金額	C	4,802,365円
分配準備積立金額	D	190,647円	分配準備積立金額	D	463,983円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	8,746,921円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	6,001,911円
当ファンドの期末残存口数	F	2,155,673,738口	当ファンドの期末残存口数	F	2,025,261,500口
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	40円	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	29円
1万口当たり分配金額	H	4円	1万口当たり分配金額	H	1円
収益分配金金額	I=F*H/10,000	862,269円	収益分配金金額	I=F*H/10,000	202,526円
第94期 令和 1年11月16日 令和 1年12月16日			第100期 令和 2年 5月16日 令和 2年 6月15日		
項目			項目		
費用控除後の配当等収益額	A	円	費用控除後の配当等収益額	A	712,325円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	7,588,764円	収益調整金額	C	4,681,444円
分配準備積立金額	D	187,898円	分配準備積立金額	D	971,849円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	7,776,662円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	6,365,618円
当ファンドの期末残存口数	F	2,126,027,148口	当ファンドの期末残存口数	F	1,974,234,066口
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	36円	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	32円
1万口当たり分配金額	H	4円	1万口当たり分配金額	H	1円
収益分配金金額	I=F*H/10,000	850,410円	収益分配金金額	I=F*H/10,000	197,423円
第95期 令和 1年12月17日 令和 2年 1月15日			第101期 令和 2年 6月16日 令和 2年 7月15日		
項目			項目		
費用控除後の配当等収益額	A	円	費用控除後の配当等収益額	A	円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	6,684,868円	収益調整金額	C	4,642,262円
分配準備積立金額	D	186,265円	分配準備積立金額	D	1,474,195円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	6,871,133円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	6,116,457円
当ファンドの期末残存口数	F	2,108,991,055口	当ファンドの期末残存口数	F	1,957,666,086口
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	32円	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	31円
1万口当たり分配金額	H	4円	1万口当たり分配金額	H	1円
収益分配金金額	I=F*H/10,000	843,596円	収益分配金金額	I=F*H/10,000	195,766円

前期 自 令和 1年 8月16日 至 令和 2年 2月17日			当期 自 令和 2年 2月18日 至 令和 2年 8月17日		
第96期 令和 2年 1月16日 令和 2年 2月17日			第102期 令和 2年 7月16日 令和 2年 8月17日		
項目			項目		
費用控除後の配当等収益額	A	円	費用控除後の配当等収益額	A	円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	5,755,661円	収益調整金額	C	4,539,061円
分配準備積立金額	D	182,885円	分配準備積立金額	D	1,249,880円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	5,938,546円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	5,788,941円
当ファンドの期末残存口数	F	2,077,193,533口	当ファンドの期末残存口数	F	1,914,092,252口
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	28円	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	30円
1万口当たり分配金額	H	4円	1万口当たり分配金額	H	1円
収益分配金金額	I=F*H/10,000	830,877円	収益分配金金額	I=F*H/10,000	191,409円

## (金融商品に関する注記)

## 1 金融商品の状況に関する事項

区分	前期 自 令和 1年 8月16日 至 令和 2年 2月17日	当期 自 令和 2年 2月18日 至 令和 2年 8月17日
1.金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」（昭和26年法律第198号）第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左

区分	前期	当期
	自 令和 1年 8月16日 至 令和 2年 2月17日	自 令和 2年 2月18日 至 令和 2年 8月17日
2. 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	<p>当ファンドは、親投資信託受益証券に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。</p> <p>当ファンドは、運用の効率化を図るために、為替予約取引を利用しております。当該デリバティブ取引は、為替相場の変動による市場リスクおよび信用リスク等を有しております。</p> <p>また、デリバティブ取引の時価等に関する事項についての契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額または計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。</p>	同左
3. 金融商品に係るリスク管理体制	<p>ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。</p> <p>また、運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っており、この結果は運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされます。</p>	同左

## 2 金融商品の時価等に関する事項

区分	前期	当期
	[ 令和 2年 2月17日現在 ]	[ 令和 2年 8月17日現在 ]
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	<p>(1) 有価証券</p> <p>売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。</p> <p>(2) デリバティブ取引</p> <p>デリバティブ取引は、（デリバティブ取引に関する注記）に記載しております。</p> <p>(3) 上記以外の金融商品</p>	<p>(1) 有価証券</p> <p>同左</p> <p>(2) デリバティブ取引</p> <p>同左</p> <p>(3) 上記以外の金融商品</p>

区分	前期	当期
	[ 令和 2年 2月17日現在 ]	[ 令和 2年 8月17日現在 ]
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	同左
	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

## （有価証券に関する注記）

## 売買目的有価証券

種類	前期	当期
	[ 令和 2年 2月17日現在 ]	[ 令和 2年 8月17日現在 ]
	最終計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)	最終計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)
親投資信託受益証券	9,743,432	535,982
合計	9,743,432	535,982

## （デリバティブ取引に関する注記）

## 取引の時価等に関する事項

## 通貨関連

前期 [ 令和 2年 2月17日現在 ]

区分	種類	契約額等 (円)		時価 (円)	評価損益 (円)
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引				
	買建				
	カナダドル	98,745,591		98,791,560	45,969
	ニュージーランドドル	399,377,865		395,447,240	3,930,625
	スウェーデンクローネ	196,539,418		196,138,020	401,398
	ユーロ	296,149,846		292,785,170	3,364,676
	売建				
	アメリカドル	194,717,529		197,023,080	2,305,551
	スイスフラン	394,937,043		392,782,080	2,154,963
	ノルウェークローネ	98,582,279		98,840,850	258,571
合計	1,679,049,571		1,671,808,000	8,059,889	



当期 [ 令和 2年 8月17日現在 ]

区分	種類	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引				
	買建				
	アメリカドル	13,693,414		13,738,500	45,086
	カナダドル	258,487,296		261,233,160	2,745,864
	イギリスポンド	222,531,100		225,893,410	3,362,310
	ニュージーランドドル	236,847,892		234,654,760	2,193,132
	ユーロ	195,715,528		203,185,460	7,469,932
	売建				
	オーストラリアドル	208,396,183		212,039,820	3,643,637
	スイスフラン	336,882,150		346,735,620	9,853,470
	スウェーデンクローネ	5,145,112		5,202,480	57,368
	ノルウェークローネ	207,468,695		217,952,140	10,483,445
	合計		1,685,167,370		1,720,635,350

（注）時価の算定方法

1 対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

為替予約の受渡日（以下「当該日」といいます。）の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は、当該対顧客先物相場の仲値で評価しております。

当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

（イ）当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。

（ロ）当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値を用いております。

2 対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（1口当たり情報）

	前期 [ 令和 2年 2月17日現在 ]	当期 [ 令和 2年 8月17日現在 ]
1口当たり純資産額	0.9481円	0.9278円
(1万口当たり純資産額)	(9,481円)	(9,278円)

## (4)【附属明細表】

## 第1 有価証券明細表

## (1) 株式

該当事項はありません。

## (2) 株式以外の有価証券

(単位：円)

種類	銘柄	口数	評価額	備考
親投資信託受益証券	三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド	1,071,963,725	1,567,318,162	
合計		1,071,963,725	1,567,318,162	

## 第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

## 第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

(デリバティブ取引に関する注記)に記載しております。

## (参考)

当ファンドの主要投資対象の状況は以下の通りです。  
なお、以下に記載した情報は、監査の対象外であります。

## 三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド

## 貸借対照表

(単位：円)

[ 令和 2年 8月17日現在 ]

資産の部	
流動資産	
コール・ローン	309,220,706
国債証券	6,778,306,400
特殊債券	100,099,000
社債券	3,994,339,000
未収利息	26,745,782
前払費用	1,829,944
流動資産合計	11,210,540,832
資産合計	11,210,540,832
負債の部	
流動負債	
未払解約金	13,681,902
未払利息	486

[ 令和 2年 8月17日現在 ]

流動負債合計	13,682,388
負債合計	13,682,388
純資産の部	
元本等	
元本	7,657,824,775
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	3,539,033,669
元本等合計	11,196,858,444
純資産合計	11,196,858,444
負債純資産合計	11,210,540,832

## 注記表

( 重要な会計方針に係る事項に関する注記 )

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	公社債は時価で評価しております。時価評価にあたっては、価格情報会社等の提供する理論価格で評価しております。
--------------------	---

( 貸借対照表に関する注記 )

	[ 令和 2年 8月17日現在 ]
1. 期首	令和 2年 2月18日
期首元本額	7,169,057,315円
期中追加設定元本額	1,512,387,502円
期中一部解約元本額	1,023,620,042円
元本の内訳	
国内債券通貨プラス	1,071,963,725円
国内債券セレクション（ラップ向け）	2,393,188,993円
三菱UFJ アドバンスト・バランス（安定型）	137,116,555円
三菱UFJ アドバンスト・バランス（安定成長型）	147,758,992円
三菱UFJ 日本バランスオープン 株式20型	810,837,092円
三菱UFJ 日本バランスオープン 株式40型	848,537,879円
三菱UFJ ライフプラン 25	431,080,397円
三菱UFJ ライフプラン 50	489,456,436円
三菱UFJ ライフプラン 75	142,299,134円
三菱UFJ ライフプラン 50VA（適格機関投資家限定）	239,078,973円
三菱UFJ 世界バランスファンド 25VA（適格機関投資家限定）	32,361,820円
三菱UFJ 世界バランスファンド 50VA（適格機関投資家限定）	131,494,938円
三菱UFJ ライフ・バランスファンド（安定型）	110,871,506円
三菱UFJ ライフ・バランスファンド（安定成長型）	48,729,356円
三菱UFJ ライフ・バランスファンド（成長型）	21,901,780円
三菱UFJ ライフ・バランスファンド（積極型）	36,436,716円

	[令和 2年 8月17日現在]
三菱UFJ ターゲット・イヤーファンド 2030	13,831,479円
三菱UFJ ターゲット・イヤーファンド 2040	8,360,411円
三菱UFJ <DC>ライフ・バランスファンド（安定型）	82,388,576円
三菱UFJ <DC>ライフ・バランスファンド（安定成長型）	115,215,581円
三菱UFJ <DC>ライフ・バランスファンド（成長型）	51,058,857円
三菱UFJ <DC>ライフ・バランスファンド（積極型）	47,501,327円
三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2030	150,910,130円
三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2040	95,444,122円
合計	7,657,824,775円
2. 受益権の総数	7,657,824,775口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

1 金融商品の状況に関する事項

区分	自 令和 2年 2月18日 至 令和 2年 8月17日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」（昭和26年法律第198号）第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。
2. 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドは、公社債等に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。
3. 金融商品に係るリスク管理体制	ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。 また、運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っており、この結果は運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされます。

2 金融商品の時価等に関する事項

区分	[令和 2年 8月17日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。
2. 時価の算定方法	<p>(1) 有価証券            売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。</p> <p>(2) デリバティブ取引            デリバティブ取引は、該当事項はありません。</p> <p>(3) 上記以外の金融商品            上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。</p>

区分	[ 令和 2年 8月17日現在 ]
3.金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

## （有価証券に関する注記）

## 売買目的有価証券

種類	[ 令和 2年 8月17日現在 ]
	当期間の損益に含まれた評価差額（円）
国債証券	161,082,200
特殊債券	64,000
社債券	14,889,000
合計	175,907,200

（注）当期間の開始日は、当該親投資信託の期首日であります。

## （デリバティブ取引に関する注記）

## 取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

## （関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

## （1口当たり情報）

	[ 令和 2年 8月17日現在 ]
1口当たり純資産額	1.4621円
(1万口当たり純資産額)	(14,621円)

## 附属明細表

## 第1 有価証券明細表

## (1) 株式

該当事項はありません。

## (2)株式以外の有価証券

(単位：円)

種類	銘柄	券面総額	評価額	備考
国債証券	第142回利付国債(5年)	270,000,000	272,351,700	
	第5回利付国債(40年)	60,000,000	83,750,400	
	第7回利付国債(40年)	60,000,000	79,560,600	
	第10回利付国債(40年)	80,000,000	87,200,000	
	第11回利付国債(40年)	60,000,000	63,485,400	
	第348回利付国債(10年)	10,000,000	10,117,500	
	第350回利付国債(10年)	100,000,000	101,180,000	
	第351回利付国債(10年)	90,000,000	91,026,000	
	第352回利付国債(10年)	50,000,000	50,547,500	
	第354回利付国債(10年)	460,000,000	464,347,000	
	第356回利付国債(10年)	80,000,000	80,653,600	
	第357回利付国債(10年)	80,000,000	80,596,000	
	第23回利付国債(30年)	40,000,000	53,548,400	
	第26回利付国債(30年)	50,000,000	66,642,500	
	第28回利付国債(30年)	20,000,000	27,281,800	
	第30回利付国債(30年)	40,000,000	53,658,400	
	第31回利付国債(30年)	30,000,000	39,895,800	
	第32回利付国債(30年)	50,000,000	67,685,000	
	第33回利付国債(30年)	50,000,000	65,058,000	
	第34回利付国債(30年)	60,000,000	80,694,600	
	第36回利付国債(30年)	70,000,000	91,980,700	
	第37回利付国債(30年)	40,000,000	51,914,400	
	第38回利付国債(30年)	20,000,000	25,614,400	
	第39回利付国債(30年)	50,000,000	65,217,000	
	第42回利付国債(30年)	90,000,000	113,987,700	
	第44回利付国債(30年)	30,000,000	38,067,600	
	第45回利付国債(30年)	20,000,000	24,499,200	
	第46回利付国債(30年)	90,000,000	110,308,500	
	第47回利付国債(30年)	20,000,000	24,998,800	
	第49回利付国債(30年)	40,000,000	48,204,800	
	第50回利付国債(30年)	70,000,000	74,341,400	
	第53回利付国債(30年)	30,000,000	30,345,000	
	第54回利付国債(30年)	100,000,000	106,044,000	
	第58回利付国債(30年)	130,000,000	137,454,200	
第60回利付国債(30年)	110,000,000	118,933,100		
第61回利付国債(30年)	60,000,000	61,752,000		
第67回利付国債(30年)	10,000,000	9,962,100		
第99回利付国債(20年)	100,000,000	115,881,000		
第100回利付国債(20年)	70,000,000	81,993,800		

第103回利付国債(20年)	50,000,000	59,199,500	
第105回利付国債(20年)	50,000,000	58,661,000	
第108回利付国債(20年)	20,000,000	23,217,400	
第110回利付国債(20年)	50,000,000	59,066,000	
第111回利付国債(20年)	70,000,000	83,610,800	
第113回利付国債(20年)	50,000,000	59,490,500	
第114回利付国債(20年)	50,000,000	59,695,000	
第116回利付国債(20年)	70,000,000	84,519,400	
第118回利付国債(20年)	60,000,000	71,524,200	
第121回利付国債(20年)	50,000,000	59,286,500	
第123回利付国債(20年)	80,000,000	96,720,000	
第125回利付国債(20年)	100,000,000	122,318,000	
第128回利付国債(20年)	120,000,000	143,312,400	
第130回利付国債(20年)	50,000,000	59,323,000	
第132回利付国債(20年)	70,000,000	82,465,600	
第136回利付国債(20年)	70,000,000	81,838,400	
第137回利付国債(20年)	80,000,000	94,643,200	
第140回利付国債(20年)	60,000,000	71,128,200	
第141回利付国債(20年)	100,000,000	118,778,000	
第143回利付国債(20年)	100,000,000	117,693,000	
第145回利付国債(20年)	90,000,000	107,233,200	
第146回利付国債(20年)	170,000,000	202,917,100	
第147回利付国債(20年)	70,000,000	82,786,900	
第148回利付国債(20年)	40,000,000	46,846,800	
第149回利付国債(20年)	100,000,000	117,268,000	
第150回利付国債(20年)	120,000,000	139,256,400	
第152回利付国債(20年)	130,000,000	147,483,700	
第153回利付国債(20年)	80,000,000	91,952,000	
第154回利付国債(20年)	100,000,000	113,566,000	
第155回利付国債(20年)	80,000,000	88,536,800	
第158回利付国債(20年)	90,000,000	92,619,900	
第159回利付国債(20年)	120,000,000	125,216,400	
第160回利付国債(20年)	40,000,000	42,360,400	
第162回利付国債(20年)	180,000,000	187,558,200	
第164回利付国債(20年)	40,000,000	40,960,000	
第166回利付国債(20年)	260,000,000	274,547,000	
第172回利付国債(20年)	20,000,000	19,927,600	
国債証券 合計	5,970,000,000	6,778,306,400	
特殊債券	第229号商工債券(3年)	100,000,000	100,099,000
特殊債券 合計		100,000,000	100,099,000
社債券	第23回フランス相互信用連合銀行	100,000,000	99,102,000
	第3回香港上海銀行	100,000,000	98,947,000
	第3回マラヤン・バンキング(2019)	200,000,000	199,888,000

第6回マラヤン・バンキング	200,000,000	198,728,000	
第1回パークレイズ・ピーエルシー期限前償還条項付	100,000,000	100,327,000	
第17回シティグループ	100,000,000	100,136,000	
第3回ソシエテ ジェネラル円貨社債(2018)	100,000,000	100,231,000	
UBS GROUP FUNDING(SWITZERLAND)	100,000,000	100,007,000	
第16回Zホールディングス	100,000,000	99,962,000	
第50回日本電気	100,000,000	100,045,000	
第15回パナソニック	100,000,000	100,067,000	
第34回ソニー	100,000,000	99,101,000	
第43回IHI	100,000,000	99,266,000	
第1回日本生命2017基金	100,000,000	100,149,000	
第1回明治安田生命2018基金	100,000,000	100,154,000	
第1回日本生命2019基金	100,000,000	99,945,000	
第1回明治安田生命2019基金	100,000,000	100,023,000	
第1回楽天カード	100,000,000	99,595,000	
第35回丸井グループ	100,000,000	98,818,000	
第13回三井住友トラスト・ホールディングス期限前償還条項付	100,000,000	99,569,000	
第8回みずほコーポレート銀行(劣後特約付)	100,000,000	101,788,000	
第28回三菱東京UFJ銀行(劣後特約付)	200,000,000	201,262,000	
第18回みずほフィナンシャルグループ期限前償還条項付	100,000,000	99,595,000	
第14回SBIホールディングス	100,000,000	99,616,000	
第19回SBIホールディングス	100,000,000	99,319,000	
第5回イオンフィナンシャルサービス	100,000,000	99,926,000	
第7回イオンフィナンシャルサービス	100,000,000	99,575,000	
第75回アコム	100,000,000	99,958,000	
第79回アコム	100,000,000	98,726,000	
第74回三菱UFJリース	100,000,000	99,804,000	
第1回野村ホールディングス	100,000,000	99,699,000	
第2回野村ホールディングス	100,000,000	99,427,000	
第2回ソフトバンク	100,000,000	99,513,000	
第2回東京電力パワーグリッド	100,000,000	100,548,000	
第12回東京電力パワーグリッド	100,000,000	100,436,000	
第27回東京電力パワーグリッド	100,000,000	100,886,000	
第38回東京電力パワーグリッド	100,000,000	100,201,000	
社債券 合計	4,000,000,000	3,994,339,000	
合計	10,070,000,000	10,872,744,400	

## 第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。



## 第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

## 2【ファンドの現況】

## 【国内債券通貨プラス】

## 【純資産額計算書】

令和 2年 8月31日現在

(単位：円)

資産総額	1,774,899,524
負債総額	9,226,966
純資産総額( - )	1,765,672,558
発行済口数	1,902,547,159口
1口当たり純資産価額( / )	0.9281
(10,000口当たり)	(9,281)

(参考)

三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド

## 純資産額計算書

令和 2年 8月31日現在

(単位：円)

資産総額	11,622,260,936
負債総額	180,593,003
純資産総額( - )	11,441,667,933
発行済口数	7,825,449,499口
1口当たり純資産価額( / )	1.4621
(10,000口当たり)	(14,621)

## 第三部【委託会社等の情報】

### 第1【委託会社等の概況】

#### 1【委託会社等の概況】

< 更新後 >

##### (1) 資本金の額等

2020年8月末現在、資本金は2,000百万円です。なお、発行可能株式総数は400,000株であり、211,581株を発行済です。最近5年間における資本金の額の増減はありません。

##### (2) 委託会社の機構

###### ・ 会社の意思決定機構

業務執行の基本方針を決定し、取締役の職務の執行を監督する機関として、取締役会を設置します。取締役の選任は、総株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席する株主総会にてその議決権の過半数をもって行い、累積投票によらないものとします。また、取締役会で決定した基本方針に基づき、経営管理全般に関する執行方針その他重要な事項を協議・決定する機関として、経営会議を設置します。

###### ・ 投資運用の意思決定機構

###### 投資環境見通しの策定

投資環境会議において、国内外の経済・金融情報および各国証券市場等の調査・分析に基づいた投資環境見通しを策定します。

###### 運用戦略の決定

運用戦略委員会において、で策定された投資環境見通しに沿って運用戦略を決定します。

###### 運用計画の決定

で決定された運用戦略に基づいて、各運用部はファンド毎の運用計画を決定します。

###### ポートフォリオの構築

各運用部の担当ファンドマネジャーは、運用部から独立したトレーディング部に売買実行の指示をします。トレーディング部は、事前のチェックを行ったうえで、最良執行をめざして売買の執行を行います。

###### 投資行動のモニタリング1

運用部門は、投資行動がファンドコンセプトおよびファンド毎に定めた運用計画に沿っているかどうかの自律的なチェックを行い、逸脱がある場合は速やかな是正を指示します。

###### 投資行動のモニタリング2

運用部から独立した管理担当部署は、運用に関するパフォーマンス測定、リスク管理および法令・信託約款などの遵守状況等のモニタリングを実施します。この結果は、運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされ、必要に応じて是正を指示します。

###### ファンドに関係する法人等の管理

受託会社等、ファンドの運営に関係する法人については、その業務に関する委託会社の管理担当部署が、体制、業務執行能力、信用力等のモニタリング・評価を実施します。この結果は、リスク管理委員会等を通じて委託会社の経営陣に報告され、必要に応じて是正が指示されます。

###### 運用・管理に関する監督

内部監査担当部署は、運用、管理等に関する委託会社の業務全般についてその健全性・適切性を担保するために、リスク管理、内部統制、ガバナンス・プロセスの適切性・有効性を検証・評価します。その評価結果は問題点の改善方法の提言等も含めて委託会社の経営陣に報告される、内部監査態勢が構築されています。

ファンドの運用体制等は、今後変更される可能性があります。

## 2【事業の内容及び営業の概況】

<更新後>

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）等を行っています。また「金融商品取引法」に定める第二種金融商品取引業および投資助言業務を行っています。

2020年8月31日現在における委託会社の運用する証券投資信託は以下の通りです。（親投資信託を除きます。）

商品分類	本数 (本)	純資産総額 (百万円)
追加型株式投資信託	868	14,374,966
追加型公社債投資信託	16	1,375,722
単位型株式投資信託	69	349,152
単位型公社債投資信託	24	124,345
合計	977	16,224,184

なお、純資産総額の金額については、百万円未満の端数を四捨五入して記載しておりますので、表中の個々の数字の合計と合計欄の数字とは一致しないことがあります。

## 3【委託会社等の経理状況】

<更新後>

## (1) 財務諸表の作成方法について

委託会社である三菱UFJ国際投信株式会社（以下「当社」という。）の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則（昭和38年大蔵省令第59号）」（以下「財務諸表等規則」という。）第2条の規定により、財務諸表等規則及び「金融商品取引業等に関する内閣府令（平成19年内閣府令第52号）」に基づき作成しております。

なお、財務諸表に掲載している金額については、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## (2) 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第35期事業年度（自平成31年4月1日至令和2年3月31日）の財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる監査を受けております。

## (1) 【貸借対照表】

(単位：千円)

	第34期 (平成31年3月31日現在)	第35期 (令和2年3月31日現在)
(資産の部)		

<b>流動資産</b>				
現金及び預金	2	53,969,686	2	56,398,457
有価証券		1,403,513		1,960,318
前払費用		514,587		575,904
未収入金		2,284		14,559
未収委託者報酬		9,995,458		10,296,453
未収収益	2	560,483	2	638,994
金銭の信託	2	100,000	2	100,000
その他		153,256		254,330
流動資産合計		66,699,271		70,239,017
<b>固定資産</b>				
<b>有形固定資産</b>				
建物	1	617,032	1	584,048
器具備品	1	665,247	1	871,893
土地		628,433		628,433
有形固定資産合計		1,910,713		2,084,375
<b>無形固定資産</b>				
電話加入権		15,822		15,822
ソフトウェア		3,670,753		3,369,611
ソフトウェア仮勘定		536,345		1,374,932
無形固定資産合計		4,222,921		4,760,365
<b>投資その他の資産</b>				
投資有価証券		21,408,781		16,704,756
関係会社株式		320,136		320,136
投資不動産	1	824,268	1	819,255
長期差入保証金		593,536		565,358
前払年金費用		415,234		375,031
繰延税金資産		1,496,180		1,912,824
その他		45,230		45,230
貸倒引当金		23,600		23,600
投資その他の資産合計		25,079,767		20,718,993
固定資産合計		31,213,401		27,563,734
資産合計		97,912,673		97,802,752

(単位：千円)

	第34期 (平成31年3月31日現在)		第35期 (令和2年3月31日現在)	
<b>(負債の部)</b>				
<b>流動負債</b>				
預り金		293,258		687,565
<b>未払金</b>				
未払収益分配金		170,281		131,478
未払償還金		448,695		395,400
未払手数料	2	3,990,054	2	4,026,078
その他未払金	2	3,961,765	2	3,818,195
未払費用	2	3,803,995	2	4,402,578
未払消費税等		194,852		629,469
未払法人税等		573,657		617,341
賞与引当金		901,135		933,517

役員賞与引当金	140,100	124,590
その他	868,992	701,285
流動負債合計	15,346,788	16,467,499
固定負債		
長期未払金	43,200	32,400
退職給付引当金	860,851	1,010,401
役員退職慰労引当金	144,303	130,784
時効後支払損引当金	247,767	238,811
固定負債合計	1,296,122	1,412,398
負債合計	16,642,910	17,879,897
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	2,000,131	2,000,131
資本剰余金		
資本準備金	3,572,096	3,572,096
その他資本剰余金	41,160,616	41,160,616
資本剰余金合計	44,732,712	44,732,712
利益剰余金		
利益準備金	342,589	342,589
その他利益剰余金		
別途積立金	6,998,000	6,998,000
繰越利益剰余金	26,069,594	25,847,605
利益剰余金合計	33,410,184	33,188,194
株主資本合計	80,143,028	79,921,039

(単位：千円)

	第34期 (平成31年3月31日現在)	第35期 (令和2年3月31日現在)
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,126,733	1,815
評価・換算差額等合計	1,126,733	1,815
純資産合計	81,269,762	79,922,854
負債純資産合計	97,912,673	97,802,752

## (2)【損益計算書】

(単位：千円)

	第34期 (自平成30年4月1日 至平成31年3月31日)	第35期 (自平成31年4月1日 至令和2年3月31日)
営業収益		
委託者報酬	70,375,414	67,967,489
投資顧問料	2,505,299	2,385,084
その他営業収益	18,844	16,085
営業収益合計	72,899,557	70,368,658
営業費用		

支払手数料	2	28,533,952	2	27,106,451
広告宣伝費		739,643		696,418
公告費		500		1,000
調査費				
調査費		1,794,755		1,857,271
委託調査費		12,194,996		11,579,175
事務委託費		1,016,816		847,769
営業雑経費				
通信費		170,794		153,731
印刷費		427,442		427,118
協会費		48,375		52,053
諸会費		16,175		15,990
事務機器関連費		1,841,631		1,953,926
営業費用合計		46,785,083		44,690,907
一般管理費				
給料				
役員報酬		349,083		331,987
給料・手当		6,453,717		6,611,427
賞与引当金繰入		901,135		933,517
役員賞与引当金繰入		140,100		124,590
福利厚生費		1,234,293		1,276,950
交際費		13,011		11,871
旅費交通費		200,426		165,891
租税公課		373,201		360,165
不動産賃借料		654,886		647,402
退職給付費用		428,912		422,919
役員退職慰労引当金繰入		51,159		48,183
固定資産減価償却費		1,252,321		1,307,555
諸経費		523,213		427,212
一般管理費合計		12,575,461		12,669,674
営業利益		13,539,012		13,008,076

(単位：千円)

	第34期 (自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)	第35期 (自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)
営業外収益		
受取配当金	181,073	90,965
受取利息	2 1,913	2 4,169
投資有価証券償還益	416,706	585,179
収益分配金等時効完成分	44,392	101,734
受取賃貸料	2 38,388	2 65,808
その他	11,871	19,987
営業外収益合計	694,346	867,845
営業外費用		
投資有価証券償還損	118,173	96,379
時効後支払損引当金繰入	1,166	
事務過誤費	420	3,483
賃貸関連費用	35,994	20,339
その他	1,481	1,920
営業外費用合計	157,235	122,122

経常利益		14,076,123		13,753,799
特別利益				
投資有価証券売却益		501,778		174,842
特別利益合計		501,778		174,842
特別損失				
投資有価証券売却損		135,399		75,963
投資有価証券評価損		62,310		163,865
固定資産除却損	1	4,848	1	8,832
固定資産売却損		225		435
システム関連費		322,986		
商標使用料		90,000		
特別損失合計		615,770		249,096
税引前当期純利益		13,962,130		13,679,545
法人税、住民税及び事業税	2	4,420,179	2	4,146,534
法人税等調整額		100,112		79,824
法人税等合計		4,320,066		4,226,359
当期純利益		9,642,064		9,453,186

## (3) 【株主資本等変動計算書】

第34期（自平成30年4月1日至平成31年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本								株主資本合計
	資本金	資本剰余金			利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	27,790,911	35,131,500	81,864,344
当期変動額									
剰余金の配当							11,363,380	11,363,380	11,363,380
当期純利益							9,642,064	9,642,064	9,642,064
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計							1,721,316	1,721,316	1,721,316
当期末残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	26,069,594	33,410,184	80,143,028

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	1,484,913	1,484,913	83,349,257
当期変動額			
剰余金の配当			11,363,380
当期純利益			9,642,064
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	358,179	358,179	358,179
当期変動額合計	358,179	358,179	2,079,495
当期末残高	1,126,733	1,126,733	81,269,762

第35期（自平成31年4月1日至令和2年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本								株主資本合計
	資本金	資本剰余金			利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	27,790,911	35,131,500	81,864,344
当期変動額									
剰余金の配当							11,363,380	11,363,380	11,363,380
当期純利益							9,642,064	9,642,064	9,642,064
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計							1,721,316	1,721,316	1,721,316
当期末残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	26,069,594	33,410,184	80,143,028

当期首残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	26,069,594	33,410,184	80,143,028
当期変動額									
剰余金の配当							9,675,175	9,675,175	9,675,175
当期純利益							9,453,186	9,453,186	9,453,186
株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)									
当期変動額合計							221,989	221,989	221,989
当期末残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	25,847,605	33,188,194	79,921,039

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	1,126,733	1,126,733	81,269,762
当期変動額			
剰余金の配当			9,675,175
当期純利益			9,453,186
株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)	1,124,917	1,124,917	1,124,917
当期変動額合計	1,124,917	1,124,917	1,346,907
当期末残高	1,815	1,815	79,922,854

## [注記事項]

## (重要な会計方針)

## 1. 有価証券の評価基準及び評価方法

## (1) 子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法を採用しております。

## (2) その他有価証券

## 時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)を採用しております。

## 時価のないもの

移動平均法による原価法を採用しております。

## 2. 固定資産の減価償却の方法

## (1) 有形固定資産及び投資不動産

定率法を採用しております。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	5年～50年
器具備品	2年～20年
投資不動産	3年～47年

## (2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

## 3. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

## 4. 引当金の計上基準

## (1) 貸倒引当金

貸付金等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

## (2) 賞与引当金

従業員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

## (3) 役員賞与引当金



役員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

#### (4)退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により費用処理することとしております。

数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（主として10年）による定額法により、発生した事業年度の翌期から費用処理することとしております。

#### (5)役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

#### (6)時効後支払損引当金

時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。

### 5. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項

#### (1)消費税等の会計処理

税抜方式を採用しており、控除対象外消費税及び地方消費税は、当事業年度の費用として処理しております。

#### (2)連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

#### (3)「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」の適用

令和2年度税制改正において従来の連結納税制度が見直され、グループ通算制度に移行する税制改正法（「所得税法等の一部を改正する法律」（令和2年法律第8号））が令和2年3月27日に成立しておりますが、繰延税金資産の額について、実務対応報告第39号「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」により企業会計基準適用指針第28号「税効果会計に係る会計基準の適用指針」第44項の定めを適用せず、改正前の税法の規定に基づいて算定しております。

#### （未適用の会計基準等）

- ・「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 令和2年3月31日 企業会計基準委員会）
- ・「収益認識に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第30号 令和2年3月31日 企業会計基準委員会）
- ・「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第19号 令和2年3月31日 企業会計基準委員会）

#### (1)概要

国際会計基準審議会（IASB）及び米国財務会計基準審議会（FASB）は、共同して収益認識に関する包括的な会計基準の開発を行い、平成26年5月に「顧客との契約から生じる収益」（IASBにおいてはIFRS第15号、FASBにおいてはTopic606）を公表しており、IFRS第15号は平成30年1月1日以後開始する事業年度から、Topic606は平成29年12月15日より後に開始する事業年度から適用される状況を踏まえ、企業会計基準委員会において、収益認識に関する包括的な会計基準が開発され、適用指針と合わせて公表されたものです。

企業会計基準委員会の収益認識に関する会計基準の開発にあたっての基本的な方針として、IFRS第15号と整合性を図る便益の1つである財務諸表間の比較可能性の観点から、IFRS第15号の基本的な原則を取り入れることを出発点とし、会計基準を定めることとされ、また、これまで我が国で行われてきた実務等に配慮すべき項目がある場合には、比較可能性を損なわせない範囲で代替的な取扱いを追加することとされております。

#### (2)適用予定日

令和4年3月期の期首から適用します。

#### (3)当該会計基準等の適用による影響

「収益認識に関する会計基準」等の適用による財務諸表に与える影響額については、現時点で評価

中であります。

- ・「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 令和元年7月4日 企業会計基準委員会）
- ・「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 令和元年7月4日 企業会計基準委員会）
- ・「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 令和元年7月4日 企業会計基準委員会）
- ・「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第19号 令和2年3月31日 企業会計基準委員会）

#### (1)概要

国際会計基準審議会（IASB）及び米国財務会計基準審議会（FASB）が、公正価値測定についてほぼ同じ内容の詳細なガイダンス（国際財務報告基準（IFRS）においてはIFRS第13号「公正価値測定」、米国会計基準においてはAccounting Standards CodificationのTopic 820「公正価値測定」）を定めている状況を踏まえ、企業会計基準委員会において、主に金融商品の時価に関するガイダンス及び開示に関して、日本基準を国際的な会計基準との整合性を図る取組みが行われ、「時価の算定に関する会計基準」等が公表されたものです。

企業会計基準委員会の時価の算定に関する会計基準の開発にあたっての基本的な方針として、統一した算定方法を用いることにより、国内外の企業間における財務諸表の比較可能性を向上させる観点から、IFRS第13号の定めを基本的にすべて取り入れることとされ、また、これまで我が国で行われてきた実務等に配慮し、財務諸表間の比較可能性を大きく損なわない範囲で、個別項目に対するその他の取扱いを定めることとされております。

#### (2)適用予定日

令和4年3月期の期首から適用します。

#### (3)当該会計基準等の適用による影響

「時価の算定に関する会計基準」等の適用による財務諸表に与える影響額については、現時点で未定であります。

#### (貸借対照表関係)

##### 1.有形固定資産及び投資不動産の減価償却累計額

	第34期 (平成31年3月31日現在)	第35期 (令和2年3月31日現在)
建物	551,025千円	599,542千円
器具備品	1,350,407千円	1,408,613千円
投資不動産	138,024千円	145,391千円

##### 2.関係会社に対する主な資産・負債

区分掲記した以外で各科目に含まれるものは次の通りであります。

	第34期 (平成31年3月31日現在)	第35期 (令和2年3月31日現在)
預金	240,211千円	314,247千円
未収収益	25,307千円	15,773千円
金銭の信託	100,000千円	100,000千円
未払手数料	671,568千円	712,210千円
その他未払金	3,217,341千円	3,029,426千円
未払費用	444,754千円	432,019千円

#### (損益計算書関係)

##### 1.固定資産除却損の内訳

	第34期 (自平成30年4月1日 至平成31年3月31日)	第35期 (自平成31年4月1日 至令和2年3月31日)
建物	2,547千円	
器具備品	2,301千円	8,832千円
計	4,848千円	8,832千円

## 2. 関係会社に対する主な取引

区分掲記した以外で各科目に含まれるものは次の通りであります。

	第34期 (自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)	第35期 (自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)
支払手数料	5,298,064千円	5,234,629千円
受取利息	3千円	2千円
受取賃貸料	38,388千円	65,808千円
法人税、住民税及び事業税	3,216,517千円	3,030,180千円

(株主資本等変動計算書関係)

第34期(自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)

## 1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

	当事業年度期首 株式数 (株)	当事業年度増加 株式数 (株)	当事業年度減少 株式数 (株)	当事業年度末 株式数 (株)
発行済株式				
普通株式	211,581	-	-	211,581
合計	211,581	-	-	211,581

## 2. 配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

平成30年6月27日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	11,363,380千円
1株当たり配当額	53,707円
基準日	平成30年3月31日
効力発生日	平成30年6月28日

## (2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

令和元年6月26日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	9,675,175千円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	45,728円
基準日	平成31年3月31日
効力発生日	令和 元年6月27日

第35期(自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)

## 1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

	当事業年度期首 株式数 (株)	当事業年度増加 株式数 (株)	当事業年度減少 株式数 (株)	当事業年度末 株式数 (株)
発行済株式				
普通株式	211,581	-	-	211,581
合計	211,581	-	-	211,581

## 2. 配当に関する事項

## (1) 配当金支払額

令和元年6月26日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	9,675,175千円
1株当たり配当額	45,728円
基準日	平成31年3月31日
効力発生日	令和 元年6月27日

## (2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

令和2年6月26日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	9,457,670千円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	44,700円
基準日	令和2年3月31日
効力発生日	令和2年6月29日

（リース取引関係）

借主側

オペレーティング・リース取引

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

	第34期 (平成31年3月31日現在)	第35期 (令和2年3月31日現在)
1年内	675,956千円	675,956千円
1年超	675,956千円	
合計	1,351,912千円	675,956千円

（金融商品関係）

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

資金運用については銀行預金、譲渡性預金または投資信託に限定しており、金融機関からの資金調達は行っておりません。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は主として投資信託であり、価格変動リスクに晒されております。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

内部管理規程に従って月次でリスク資本を認識し、経営会議に報告しております。

(4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

2. 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含まれておりません（注2）参照）。

第34期(平成31年3月31日現在)

	貸借対照表 計上額(千円)	時価(千円)	差額(千円)
(1) 現金及び預金	53,969,686	53,969,686	-
(2) 有価証券	1,403,513	1,403,513	-
(3) 未収委託者報酬	9,995,458	9,995,458	-
(4) 投資有価証券	21,353,421	21,353,421	-
資産計	86,722,080	86,722,080	-
(1) 未払手数料	3,990,054	3,990,054	-
負債計	3,990,054	3,990,054	-

第35期(令和2年3月31日現在)

	貸借対照表 計上額(千円)	時価(千円)	差額(千円)
(1) 現金及び預金	56,398,457	56,398,457	-
(2) 有価証券	1,960,318	1,960,318	-
(3) 未収委託者報酬	10,296,453	10,296,453	-
(4) 投資有価証券	16,673,396	16,673,396	-
資産計	85,328,625	85,328,625	-
(1) 未払手数料	4,026,078	4,026,078	-

負債計	4,026,078	4,026,078	-
-----	-----------	-----------	---

## (注1) 金融商品の時価の算定方法及び有価証券に関する事項

資産

## (1) 現金及び預金、(3) 未収委託者報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

## (2) 有価証券、(4) 投資有価証券

これらはすべて投資信託であり、時価は基準価額によっております。

負債

## (1) 未払手数料

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

## (注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

(単位：千円)

区分	第34期 (平成31年3月31日現在)	第35期 (令和2年3月31日現在)
非上場株式	55,360	31,360
子会社株式	160,600	160,600
関連会社株式	159,536	159,536

非上場株式は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(4) 投資有価証券」には含めておりません。

また、子会社株式及び関連会社株式は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、記載しておりません。

## (注3) 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

第34期(平成31年3月31日現在)

(単位：千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金及び預金	53,969,686	-	-	-
未収委託者報酬	9,995,458	-	-	-
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券のうち満期があるもの				
投資信託	1,403,513	9,358,708	5,874,634	90,573
合計	65,368,659	9,358,708	5,874,634	90,573

第35期(令和2年3月31日現在)

(単位：千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金及び預金	56,398,457	-	-	-
未収委託者報酬	10,296,453	-	-	-
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券のうち満期があるもの				
投資信託	1,960,318	5,652,257	4,813,929	27,375
合計	68,655,228	5,652,257	4,813,929	27,375

## (有価証券関係)

## 1. 子会社株式及び関連会社株式

子会社株式及び関連会社株式(当事業年度の貸借対照表計上額は子会社株式160,600千円、関連会社株式159,536千円、前事業年度の貸借対照表計上額は子会社株式160,600千円、関連会社株式159,536千円)は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、記載しておりません。

## 2. その他有価証券

第34期(平成31年3月31日現在)

	種類	貸借対照表計上額 (千円)	取得原価 (千円)	差額(千円)
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	14,744,545	12,559,380	2,185,164
	小計	14,744,545	12,559,380	2,185,164
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	8,012,389	8,573,551	561,161
	小計	8,012,389	8,573,551	561,161
合計		22,756,935	21,132,932	1,624,002

第35期(令和2年3月31日現在)

	種類	貸借対照表計上額 (千円)	取得原価 (千円)	差額(千円)
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	9,859,345	8,694,010	1,165,334
	小計	9,859,345	8,694,010	1,165,334
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	8,774,369	9,937,087	1,162,718
	小計	8,774,369	9,937,087	1,162,718
合計		18,633,714	18,631,098	2,616

## 3. 売却したその他有価証券

第34期(自平成30年4月1日至平成31年3月31日)

種類	売却額(千円)	売却益の合計額(千円)	売却損の合計額(千円)
株式	140,240	58,440	-
債券	-	-	-
その他	5,222,594	443,338	135,399
合計	5,362,834	501,778	135,399

第35期(自平成31年4月1日至令和2年3月31日)

種類	売却額(千円)	売却益の合計額(千円)	売却損の合計額(千円)
株式	8,940	-	15,060
債券	-	-	-
その他	2,035,469	174,842	60,903
合計	2,044,409	174,842	75,963

## 4. 減損処理を行った有価証券

前事業年度において、有価証券について62,310千円（その他有価証券のその他62,310千円）減損処理を行っております。

当事業年度において、有価証券について163,865千円（その他有価証券のその他163,865千円）減損処理を行っております。

なお、減損処理にあたっては、期末における時価が取得原価に比べ50%以上下落した場合、及び30%以上50%未満下落し、回復可能性等の合理的反証がない場合に行っております。

## (退職給付関係)

## 1.採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として、確定給付企業年金制度（積立型制度）及び退職一時金制度（非積立型制度）を設けております。また確定拠出型の制度として、確定拠出年金制度を設けております。

## 2.確定給付制度

## (1)退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

	第34期 (自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)	第35期 (自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)
退職給付債務の期首残高	3,729,252 千円	3,712,289 千円
勤務費用	193,531	204,225
利息費用	24,351	17,557
数理計算上の差異の発生額	15,898	52,430
退職給付の支払額	218,947	162,904
過去勤務費用の発生額	-	-
退職給付債務の期末残高	3,712,289	3,718,736

## (2)年金資産の期首残高と期末残高の調整表

	第34期 (自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)	第35期 (自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)
年金資産の期首残高	2,723,393 千円	2,666,937 千円
期待運用収益	48,664	47,757
数理計算上の差異の発生額	4,606	164,633
事業主からの拠出額	102,564	51,282
退職給付の支払額	203,077	140,518
年金資産の期末残高	2,666,937	2,460,824

## (3)退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

	第34期 (平成31年3月31日現在)	第35期 (令和2年3月31日現在)
積立型制度の退職給付債務	3,125,760 千円	2,969,807 千円
年金資産	2,666,937	2,460,824
	458,822	508,982
非積立型制度の退職給付債務	586,529	748,929
未積立退職給付債務	1,045,351	1,257,911
未認識数理計算上の差異	114,968	203,136
未認識過去勤務費用	484,766	419,405
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	445,616	635,370
退職給付引当金	860,851	1,010,401
前払年金費用	415,234	375,031
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	445,616	635,370

## (4)退職給付費用及びその内訳項目の金額

	第34期 (自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)	第35期 (自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)
勤務費用	193,531 千円	204,225 千円
利息費用	24,351	17,557

期待運用収益	48,664	47,757
数理計算上の差異の費用処理額	43,633	24,035
過去勤務費用の費用処理額	65,361	65,361
その他	5,986	6,427
確定給付制度に係る退職給付費用	284,199	269,848

(注)「その他」は受入出向者に係る出向元への退職給付費用負担額です。

#### (5)年金資産に関する事項

##### 年金資産の主な内訳

年金資産合計に対する主な分類ごとの比率は、次のとおりであります。

	第34期 (平成31年3月31日現在)	第35期 (令和2年3月31日現在)
債券	63.9 %	64.7 %
株式	33.2	32.3
その他	2.9	3.0
合計	100	100

##### 長期期待運用収益率の設定方法

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

#### (6)数理計算上の計算基礎に関する事項

##### 主要な数理計算上の計算基礎

	第34期 (平成31年3月31日現在)	第35期 (令和2年3月31日現在)
割引率	0.035 ~ 0.49%	0.095 ~ 0.52%
長期期待運用収益率	1.5 ~ 1.8%	1.5 ~ 1.8%

#### 3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、前事業年度144,712千円、当事業年度153,070千円であります。

#### (税効果会計関係)

##### 1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	第34期 (平成31年3月31日現在)	第35期 (令和2年3月31日現在)
繰延税金資産		
減損損失	436,050千円	427,046千円
投資有価証券評価損	223,821	226,322
未払事業税	109,109	117,461
賞与引当金	275,927	285,842
役員賞与引当金	19,428	19,703
役員退職慰労引当金	44,185	40,046
退職給付引当金	263,592	309,384
減価償却超過額	157,741	96,767
委託者報酬	264,398	213,044
長期差入保証金	31,721	40,180
時効後支払損引当金	75,866	73,124
連結納税適用による時価評価	148,858	57,656
その他	71,320	123,248
繰延税金資産 小計	2,122,023	2,029,829
評価性引当額	-	-



繰延税金資産 合計	2,122,023	2,029,829
繰延税金負債		
前払年金費用	127,144	114,834
連結納税適用による時価評価	1,320	1,260
その他有価証券評価差額金	497,269	801
その他	108	109
繰延税金負債 合計	625,842	117,005
繰延税金資産の純額	1,496,180	1,912,824

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳  
第34期（平成31年3月31日現在）及び第35期（令和2年3月31日現在）

法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。

（セグメント情報等）

[セグメント情報]

第34期（自平成30年4月1日至平成31年3月31日）及び第35期（自平成31年4月1日至令和2年3月31日）

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[関連情報]

第34期（自平成30年4月1日至平成31年3月31日）及び第35期（自平成31年4月1日至令和2年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

（1）営業収益

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

（2）有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（関連当事者情報）

1. 関連当事者との取引

（1）財務諸表提出会社の親会社及び主要株主等

第34期（自平成30年4月1日至平成31年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有（被所有）割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額（注4）	科目	期末残高（注4）

親会社	(株)三菱UFJ フィナンシャル・ グループ	東京都 千代田 区	2,141,513 百万円	銀行持株 会社業	被所有 間接 100.0%	連結納税	連結納税に 伴う支払 (注1)	3,216,517 千円	その他未払金	3,217,341 千円
親会社	三菱UFJ 信託銀行(株)	東京都 千代田 区	324,279 百万円	信託業、 銀行業	被所有 直接 100.0%	当社投資信託の 募集の取扱及び 投資信託に係る 事務代行の委託 等	投資信託に 係る事務代 行手数料の 支払 (注2)	5,298,064 千円	未払手数料	671,568 千円
						投資の助言  役員の兼任	投資助言料 (注3)	695,834 千円	未払費用	365,510 千円

## 第35期(自平成31年4月1日至令和2年3月31日)

種類	会社等の 名称	所在地	資本金	事業の 内容	議決権等 の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (注4)	科目	期末残高 (注4)
親会社	(株)三菱UFJ フィナンシャル・ グループ	東京都 千代田 区	2,141,513 百万円	銀行持株 会社業	被所有 間接 100.0%	連結納税	連結納税に 伴う支払 (注1)	3,030,180 千円	その他未払金	3,029,426 千円
親会社	三菱UFJ 信託銀行(株)	東京都 千代田 区	324,279 百万円	信託業、 銀行業	被所有 直接 100.0%	当社投資信託の 募集の取扱及び 投資信託に係る 事務代行の委託 等	投資信託に 係る事務代 行手数料の 支払 (注2)	5,234,629 千円	未払手数料	712,210 千円
						投資の助言  役員の兼任	投資助言料 (注3)	583,270 千円	未払費用	302,681 千円

## 取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) 1. 連結納税制度に基づく連結法人税の支払予定額であります。

2. 投資信託に係る事務代行手数料については、商品毎に、過去の料率、市場実勢等を勘案して決定しております。

3. 投資助言料については、市場実勢を勘案して決定しております。

4. 上記金額のうち、取引金額は消費税等を含まず、期末残高は消費税等を含んで表示しております。

## (2)財務諸表提出会社と同一の親会社をもつ会社等

## 第34期(自平成30年4月1日至平成31年3月31日)

種類	会社等の 名称	所在地	資本金	事業の 内容	議決権等 の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (注4)	科目	期末残高 (注4)
同一の親会社を持つ会社	(株)三菱UFJ 銀行	東京都 千代田 区	1,711,958 百万円	銀行業	なし (注1)	当社投資信託の 募集の取扱及び 投資信託に係る 事務代行の委託 等	投資信託に 係る事務代 行手数料の 支払 (注2)	4,629,670 千円	未払手数料	734,633 千円
						取引銀行	コーラブル預 金の預入 (注3)	20,000,000 千円	現金及び 預金	20,000,000 千円
							コーラブル預 金に係る受取 利息 (注3)	1,578 千円	未収収益	1,578 千円

同一の親会社を持つ会社	三菱UFJ モルガン・スタンレー証券(株)	東京都千代田区	40,500 百万円	証券業	なし	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払(注2)	6,152,016 千円	未払手数料	962,840 千円
-------------	--------------------------	---------	---------------	-----	----	-------------------------------	-----------------------	-----------------	-------	---------------

## 第35期(自平成31年4月1日至令和2年3月31日)

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(注4)	科目	期末残高(注4)
同一の親会社を持つ会社	株三菱UFJ銀行	東京都千代田区	1,711,958 百万円	銀行業	なし	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等  取引銀行	投資信託に係る事務代行手数料の支払(注2)	4,073,855 千円	未払手数料	697,109 千円
							コーラブル預金の払戻(注3)	20,000,000 千円		
							コーラブル預金の預入(注3)	20,000,000 千円	現金及び預金	20,000,000 千円
							コーラブル預金に係る受取利息(注3)	4,126 千円	未収収益	997 千円
同一の親会社を持つ会社	三菱UFJ モルガン・スタンレー証券(株)	東京都千代田区	40,500 百万円	証券業	なし	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払(注2)	5,714,501 千円	未払手数料	944,351 千円

## 取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注) 1. (株)三菱UFJ銀行は、平成30年4月2日付で、保有する当社株式のすべてを(株)三菱UFJフィナンシャル・グループに対して現物配当しております。その結果、(株)三菱UFJ銀行は当社の主要株主から同一の親会社を持つ会社に該当することとなりました。  
なお、(株)三菱UFJフィナンシャル・グループは、同日付で、取得した当社株式のすべてを会社分割の方法により三菱UFJ信託銀行(株)に対して承継させております。
2. 投資信託に係る事務代行手数料については、商品毎に、過去の料率、市場実勢等を勘案して決定しております。
3. 預金利率の条件は、市場金利等を勘案して決定しております。なお、預入期間は1年であります。
4. 上記金額のうち、取引金額は消費税等を含まず、期末残高は消費税等を含んで表示しております。

## 2. 親会社に関する注記

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ(東京証券取引所、名古屋証券取引所及びニューヨーク証券取引所に上場)  
三菱UFJ信託銀行株式会社(非上場)

(1株当たり情報)

	第34期 (自平成30年4月1日 至平成31年3月31日)	第35期 (自平成31年4月1日 至令和2年3月31日)
1株当たり純資産額	384,107.08円	377,741.17円
1株当たり当期純利益金額	45,571.50円	44,678.80円

(注)1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	第34期 (自平成30年4月1日 至平成31年3月31日)	第35期 (自平成31年4月1日 至令和2年3月31日)
当期純利益金額 (千円)	9,642,064	9,453,186
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る当期純利益金額 (千円)	9,642,064	9,453,186
普通株式の期中平均株式数 (株)	211,581	211,581

## 第2【その他の関係法人の概況】

### 1【名称、資本金の額及び事業の内容】

<更新後>

#### (1) 受託会社

名称：三菱UFJ信託銀行株式会社

(再信託受託会社：日本マスタートラスト信託銀行株式会社)

資本金の額：324,279百万円(2020年3月末現在)

事業の内容：銀行業務および信託業務を営んでいます。

#### (2) 販売会社

名称	資本金の額 (2020年3月末現在)	事業の内容
三菱UFJ信託銀行株式会社	324,279 百万円	銀行業務および信託業務を営んでいます。
株式会社SBI証券	48,323 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
楽天証券株式会社	7,495 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。

### 3【資本関係】

<訂正前>

委託会社と関係法人の主な資本関係は次の通りです。(2020年2月末現在)

三菱UFJ信託銀行株式会社は委託会社の株式の100.0%(211,581株)を所有しています。

(注)関係法人が所有する委託会社の株式または委託会社が所有する関係法人の株式のうち、持株比率が3%以上のものを記載しています。

<訂正後>

委託会社と関係法人の主な資本関係は次の通りです。(2020年8月末現在)

三菱UFJ信託銀行株式会社は委託会社の株式の100.0%(211,581株)を所有しています。

(注)関係法人が所有する委託会社の株式または委託会社が所有する関係法人の株式のうち、持株比率が3%以上のものを記載しています。

## 独立監査人の監査報告書

令和2年9月23日

三菱UFJ国際投信株式会社  
取締役会御中

PwCあらた有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 鶴田 光夫 印  
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 和田 渉 印  
業務執行社員

## 監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている国内債券通貨プラスの令和2年2月18日から令和2年8月17日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、国内債券通貨プラスの令和2年8月17日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況を、すべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、三菱UFJ国際投信株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## 財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

## 財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。

- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

三菱UFJ国際投信株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

---

(注) 上記は、委託会社が、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は委託会社が別途保管しております。なお、XBRLデータは監査の対象に含まれていません。

[次へ](#)

# 独立監査人の監査報告書

令和2年6月26日

三菱UFJ国際投信株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ  
東京事務所指定有限責任社  
員 業務執 公認会計士 青 木 裕 晃 印  
行社員指定有限責任社  
員 業務執 公認会計士 伊 藤 鉄 也 印  
行社員

## 監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている三菱UFJ国際投信株式会社の平成31年4月1日から令和2年3月31日までの第35期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、三菱UFJ国際投信株式会社の令和2年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## 財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。



## 財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

---

（注）上記は、委託会社が、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は委託会社が別途保管しております。なお、XBRLデータは監査の対象に含まれていません。